

前 金	部 分 扦
有	一 回

令 和 6 年 度

北 橋 維 補 繼 第 1 号

小古曾橋耐震補強工事設計書

及 び 工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書
工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る 。

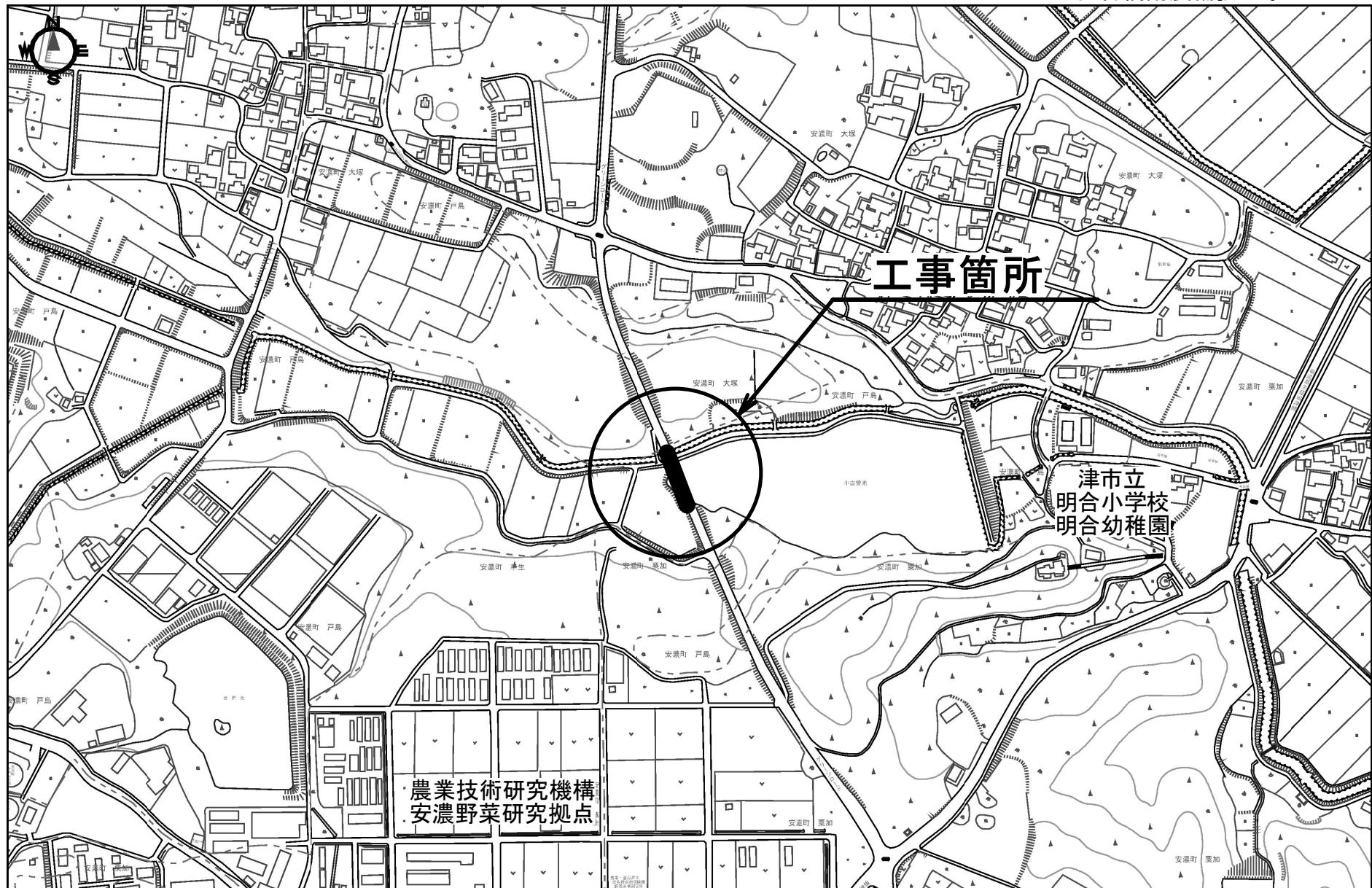
津 市

建 設 部 津 北 工 事 事 務 所

令和6年度	北橋維補継 第1号	工事設計書		
施工場所	津市安濃町戸島地内		所長	
			担当副参事	
工事名	小古曾橋耐震補強工事		検算者	
			担当主幹	
設計額	(うち消費税等相当額)		設計者	
工期	令和 8年 2月 2日限り			
長	-	巾	-	
工事の大要				
落橋防止装置工 一式				
橋脚コンクリート巻立て工 一式				

位置図

令和6年度北橋維補継第1号
小古曽橋耐震補強工事



0
300m

1:5,000

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		当初	事業区分	道路維持・修繕			
						工事区分	橋梁保全工事			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
橋梁保全工事				式		1				
橋梁付属物工				式		1				
落橋防止装置工				式		1				
落橋防止装置 橋台				式		1				
落橋防止装置 橋脚				式		1				
水平力分担構造 橋台・橋脚				式		1				
橋脚巻立て工				式		1				
作業土工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事	規格	単位	前回数量	当初	事業区分	道路維持・修繕
								工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別								数量増減	摘要
床掘り		土砂		m3			470		
埋戻し		発生土		m3			470		
土材料		購入土		m3			50		
積込(ルーズ)		土質土砂; 作業内容土量50,000m3未満		m3			520		
土砂等運搬				m3			990		
橋脚コンクリート巻立て工				式			1		
コンクリート巻立て		24-12-25(20)(高炉)		式			1		
仮設工				式			1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事	規格	単位	前回数量	今回数量	事業区分		道路維持・修繕 橋梁保全工事	
								当初	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減		摘要		
足場工				式		1					
足場				式		1					
工事用道路工				式		1					
工事用道路				式		1					
土留・仮締切工				式		1					
仮締切工				箇所		1					
水替工				式		1					
ホゾ排水		排水量0以上40(m ³ /h)未満、排水方法作業時排水		式		1					

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事	規格	単位	前回数量	今回数量	事業区分		道路維持・修繕 橋梁保全工事	
								当初	工事区分		
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減		摘要		
交通管理工				式		1					
交通誘導警備員				人日		125					
直接工事費				式		1					
共通仮設				式		1					
共通仮設費				式		1					
運搬費				式		1					
仮設材運搬費				t		79.4					
準備費				式		1					

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		当初	事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
木根等処分費				式		1		
技術管理費				式		1		
施工調査費				式		1		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事		当初	事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

令和6年度北橋維補継第1号

小古曽橋耐震補強工事

数 量 総 括 表

レベル1 : 橋梁保全工事

レベル1 : 共通仮設

工事数量総括表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
橋梁保全工事					式	1	
	橋梁付属物工				式	1	
		落橋防止装置工			式	1	
			落橋防止装置	橋台	式	1	
			落橋防止装置	橋脚	式	1	
			水平力分担構造	橋台・橋脚	式	1	
	橋梁巻立て工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	土砂	m3	470	
			埋戻し	土砂	m3	470	
			土材料	購入土	m3	50	
			積込	土砂	m3	520	
			土砂等運搬	土砂	m3	990	
		橋脚コンクリート巻立て工			式	1	
			コンクリート巻立て	24-12-25BB	式	1	

工事数量総括表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
	仮設工				式	1	
		足場工			式	1	
			足場		式	1	
		工事用道路工			式	1	
			工事用道路		式	1	
		土留・仮締切工			式	1	
			仮締切工		箇所	1	
		水替工			式	1	
			ポンプ排水		式	1	
		交通管理工			式	1	
			交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	125	
共通仮設					式	1	
	共通仮設費				式	1	
		運搬費			式	1	
			仮設材運搬費	敷鉄板	t	79.4	

工 事 数 量 總 括 表

数　量　計　算　書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置設置	<p>橋台</p> <p>落橋防止装置取付 N=2組</p> <p>芯出し素地調整 N=2組</p> <p>コンクリート削孔 N=12孔</p> <p>アンカー N=12本</p> <p>鋼桁孔明工 N=44本</p> <p>チッピング工 N=0.75m²</p> <p>注入工(シール含む) N=0.75m²</p> <p>高力ボルト本締工 N=44本</p> <p>ヒンテール仕上げ工 N=44本</p> <p>既設部素地調整 A=0.88m²</p> <p>現場塗装 A=0.22m²</p> <p>落橋防止装置材料費</p> <p>　　鋼製ブラケット(亜鉛メッキ) W=0.30t</p> <p>　　鋼製ブラケット(C-5) W=0.33t</p> <p>　　緩衝チェーン連結装置 N=2組</p> <p>　　高力ボルトM22*115 N=16本</p> <p>　　高力ボルトM22*95 N=12本</p> <p>　　高力ボルトM22*90 N=16本</p> <p>　　アンカーボルト D35*635 N=12組</p>	N= 1.00	式 1.0

数量計算書						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
		水平力分担構造	既設部素地調整 A=3.16m ² 現場塗装 A=0.64m ² 落橋防止装置材料費 鋼製ブラケット(C-5) W=1.44t ケーブル連結装置 N=4組 高力ボルトM22*125 N=24本 高力ボルトM22*120 N=16本 高力ボルトM22*65 N=80本 橋台・橋脚 落橋防止装置取付 N=14組 芯出し素地調整 N=14組 コンクリート削孔 N=72孔 アンカー N=72本 鋼桁孔明工 N=200本 チッピング工 N=2.52m ² 注入工(シール含む) N=2.52m ² 高力ボルト本締工 N=336本 ピンテール仕上げ工 N=336本 既設部素地調整 A=3.71m ² 現場塗装 A=1.81m ² 落橋防止装置材料費 鋼製ブラケット(C-5) W=4.27t 鋼製ブラケット(亜鉛メッキ) W=0.56t 緩衝ピンφ70 N=4基 緩衝ピンφ105 N=4基 緩衝ピンφ65 N=6基 高力ボルトM22*80 N=16本 高力ボルトM22*105 N=48本	N= 1.00	式	1.0

数　量　計　算　書								
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量	
橋脚巻立て工	作業土工	床掘り	土砂	高力ボルトM22*115 N=176本 高力ボルトM24*155 N=96本 アンカーボルト D25*500 N=24組 アンカーボルト D25*505 N=16組 アンカーボルト D29*570 N=32組	N=	1.00	式	
		埋戻し	土砂		V=	472.20	m3	
	橋脚コンクリート巻立て工	土材料	購入土 $V=(465.2-472.2 \times 0.9) \times 1.33$		=	53.49	m3	
		積込	土砂 $V=465.2/0.9$		=	516.89	m3	
		土砂等運搬	土砂 $V=472.20+465.2/0.9$		=	989.09	m3	
		コンクリート巻立て	RC巻立て補強 コンクリート(24-12-25BB) V=12.8+0.004+6.6=19.4m3 一般型枠 A=21.2+0.3+9.3=30.8m2 円形型枠 A=26.0+11.9=37.9m2 下地処理(表面処理) A=30.4+24.9+1.6+1.7=58.6m2					

数　量　計　算　書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工	足場工	足場	鉄筋工D22 W=1.268t 鉄筋工D51 W=7.787t 圧接工D51 N=34箇所 フレア-溶接D22×D22 N=86箇所 コンクリート削孔 φ42 N=18孔 アンカーφ32 N=18本 コンクリート削孔 φ54 N=34孔 アンカーφ51 N=34本 PC鋼棒(B種1号径32mm) W=193kg 溝形鋼250*90*9 W=176kg PC鋼棒用ナットφ32 N=18個 PC鋼棒用ワッシャーφ32 N=18個 支圧板165*32*165 N=18枚 裸運搬処分 V=0.13m ³	N= 1.00 式	1.0
			吊足場(タイプA1(桁高h<1.5)) A=8.7 × (5.0+6.0)=95.7m ² 吊足場(タイプA3(部材移動有)) A=8.7 × (5.0+6.0)=95.7m ² 吊足場(タイプB(両面朝顔)) A=8.7 × (5.0+6.0)=95.7m ² 足場(枠組足場) A=20.6 × 6.6=136.0掛m ²		
工事用道路工	工事用道路	工事用道路	整地 V=447.1m ³ 山土 V=447.1 × 1.2=536.5m ³ 積込 V=447.1m ³ 大型土のう工(製作・設置) N=114袋 大型土のう工(撤去) N=114袋	N= 1.00 式	1.0

数　量　計　算　書						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
			土砂等運搬・残土等処分 V=447.1+114×0.83=541.7m ³ 敷鉄板設置撤去 A=3.00×25.00+8.00×48.00=459.0m ² 敷鉄板設置料 N=1式 防護柵撤去 L=6.5m 防護柵設置(既設再利用) L=6.5m			
	土留・仮締切工	仮締切工	大型土のう工(製作・設置) N=61袋 大型土のう工(撤去) N=61袋 土砂等運搬・残土等処分 V=61×0.83=50.6m ³	N= 1.0	式	1.0
	水替工	ポンプ排水	作業時排水	N= 1.0	式	1.0
	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	N= 1.0	式	1.0

数　量　計　算　書						
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
共通仮設費	運搬費	仮設材運搬費	敷鉄板（往復） W=99×0.802	= 79.40	t	79.4
	準備費	木根等処分費	伐木 N=3本 処分量 W=0.51×3=1.53t	N= 1.0	式	1.0
	技術管理費	施工調査費	鉄筋探査工(落橋防止 横向き) A=0.75m ² 鉄筋探査工(水平力分担 下向き) A=2.52m ² 鉄筋探査工(巻立て補強 下向き) A=3.3m ² 鉄筋探査工(巻立て補強 横向き) A=9.2m ² 近接調査計測工(落橋防止 橋台) N=2組 近接調査計測工(落橋防止 橋脚) N=4組 近接調査計測工(水平分担構造) N=14組	N= 1.0	式	1.0

落橋防止構造(ブレケット他) 数量計算書

総括表

名称	規格	単位	階層1			備考
			小古曾A1落防	小古曾PT落防	小古曾A2落防	
(鋼材重量)	SM430YB	kg	92	384	-	476 ブラケット
	SM430A	kg	-	104	-	104 ブラケット
	PL	kg	300	-	-	300 ブラケット
	SM400A	kg	230	-	728	958 ブラケット
	SS400	kg	-	224	-	224 ブラケット
	SD345	D 35	kg	4	-	4 ブラケット
トルシア系 高力ボルト	TCB	M 22	kg	58	-	58 アンカーボルト
	S10T	M 22	kg	26	64	90 ブラケット系品が無い
	NUT	M 33	kg	4	-	4 ナット(1種)
	NUT3	M 33	kg	2	-	2 ナット(3種)
	SS400	M 33	kg	-	-	-
	WASH	SS400	M 33	kg	2	-
総計			kg	718	1504	2222
トルシア系 高力ボルト	M 22*	125	本	-	24	24
	M 22*	120	本	-	16	16
	S10T	M 22*	115	本	16	16
	TCB	M 22*	95	本	12	12
	WASH	M 22*	90	本	16	16
	総計		kg	-	80	80
(鋼材重量)	DB	SD345	L=635mm (M33ねじ切り L=110)	本	12	-
	NUT	SS400	M 33(1種)	個	12	-
	WASH	SS400	M 33(3種)	個	12	-
	PL	SM400A	25	kg	218	-
	総計		kg	80	-	218
	総計		kg	298	-	80 HDZTT7
工場塗装 (鋼材重量)	SM430YB	28	kg	92	384	476
	SM430A	22	kg	-	104	104
	SM400A	25	kg	82	-	82
	SM400A	22	kg	150	728	878 C-5
	SS400	9	kg	-	224	224
	総計		kg	328	1440	1768
現場塗装	F-11B	ボルト外面	m ²	0.22	0.64	F-11
	J	接触面	m ²	0.88	3.16	0.86
既設部材 素地調整			m ²	-	4.04	3種ケレン

材料總括表

			階層1				(單位:kg)
材種	材質	形狀	小古曾A1落防	小古曾P1落防	小古曾A2落防	總計	
PL	SM490YB	28	92	384	-	476	
	SM490YB 集計		92	384	-	476	
	SM490A	22	-	104	-	104	
	SM490A 集計		-	104	-	104	
	SM400A	25	300	-	-	300	
	22	230	728	-	-	958	
	9	-	224	-	-	224	
SM400A 集計		530	952	-	-	1482	
SS400		12	4	-	-	4	
SS400 集計			4	-	-	4	
PL 集計			626	1440	-	2066	
加工重量 集計			626	1440	-	2066	
DB	SD345	D 35	58	-	-	58	
	SD345 集計		58	-	-	58	
TCB	S10T	M 22	26	64	-	90	
	S10T 集計		26	64	-	90	
NUT	SS400	M 33	4	-	-	4	
	SS400 集計		4	-	-	4	
NUT3	SS400	M 33	2	-	-	2	
	SS400 集計		2	-	-	2	
WASH	SS400	M 33	2	-	-	2	
	SS400 集計		2	-	-	2	
部品重量 集計			92	64	-	156	
總計			718	1504	-	2222	

ボルト、アンカーボルト、ナット・ワッシャー総括表

(単位:本)

		階層1				総計
材種	材質	断面	小古曽A1落防	小古曽P1落防	小古曽A2落防	
TCB	S10T	M 22* 125	-	24	-	24
		M 22* 120	-	16	-	16
		M 22* 115	16	-	-	16
		M 22* 95	12	-	-	12
		M 22* 90	16	-	-	16
		M 22* 65	-	80	-	80
S10T 集計		44	120	-	164	164
総計		44	120	-	164	164

名称	規格		単位	小古曽A1落防	小古曽P1落防	小古曽A2落防	総計	備考
アンカーボルト ナット ワッシャー	DB	SD345	[L=635mm (M33ねじ切り L=110)]	本	12	-	-	12 HDZT49
	NUT	SS400	M 33(1種)	個	12	-	-	12 HDZT49
	NUT3	SS400	M 33(3種)	個	12	-	-	12 HDZT49
	WASH	SS400	M 33	個	12	-	-	12 HDZT49

※材料質量は材料総括表に取りまとめた。

塗装面積総括表

塗装系別集計

(単位:m²)

		階層1				
記号	塗装系	小古曾A1落防	小古曾P1落防	小古曾A2落防	総計	備考
C-5	一般部外面	2.08	12.68	-	14.76	工場塗装(C-5)
D-5	一般部内面	-	-	-	-	-
J	接触面	0.88	3.16	-	4.04	既設部素地調整(3種ケレン)
F-11	添接部外面			-		-
F-12	添接部内面	-	-	-	-	-
F-11B	ボルト外面	0.22	0.64	-	0.86	現場塗装(F-11)
F-12B	ボルト内面	-	-	-	-	-
KR	ケレン面積	0.88	3.16	-	4.04	-
K	グラスト面積	2.96	15.84	-	18.80	-

メツキ処理総括表

仕分1	HDZT49
-----	--------

(単位:kg)

階層1					
材種	材質	形状	小古曾A1落防	小古曾A2落防	総計
DB	SD345	D 35	58	-	58
	SD345 集計		58	-	58
NUT	SS400	M 33	4	-	4
	SS400 集計		4	-	4
NUT3	SS400	M 33	2	-	2
	SS400 集計		2	-	2
WASH	SS400	M 33	2	-	2
	SS400 集計		2	-	2
総計			66	-	66
仕分1	HDZT77				

(単位:kg)

階層1					
材種	材質	形状	小古曾A1落防	小古曾A2落防	総計
PL	SM400A	25	218	-	218
		22	80	-	80
	SM400A 集計		298	-	298
総計			298	-	298

十一
詩

卷之三

小古曾A1落防 A1落橋防止 G1

部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
Base	PL	240	X	28	865	219.8	45.6	46	SM490YB	小型 ブラケット
Top	PL	377	X	25	825	196.2	39.7	40	SM400A	65 小型 ブラケット
Ring	PL	260	X	22	260	172.7	8.64	17	SM400A	74 小型 ブラケット
Rib	PL	88	X	22	140	172.7	2.13	9	SM400A	小型 ブラケット
2W	TCB	M22	X	115		0.658	5	S10T	購入 ブラケット	
6W	TCB	M22	X	95		0.598	4	S10T	購入 ブラケット	
1 Fill	PL	80	X	12	240	94.20	1.81	2	SS400	小型 ブラケット
2 Base	PL	160	X	22	210	172.7	5.80	12	SM400A	小型 ブラケット
2 Flg	PL	85	X	22	295	172.7	4.33	9	SM400A	小型 ブラケット
2 Rib	PL	80	X	22	193	172.7	2.67	5	SM400A	小型 ブラケット
4 TCB	M22	X	90		0.583	2	S10T	購入 ブラケット		
2 Base	PL	160	X	22	210	172.7	5.80	12	SM400A	小型 ブラケット
2 Flg	PL	85	X	22	210	172.7	3.08	6	SM400A	小型 ブラケット
2 Rib	PL	80	X	22	193	172.7	2.67	5	SM400A	小型 ブラケット
4 TCB	M22	X	90		0.583	2	S10T	購入 ブラケット		
1 Base	PL	500	X	25	750	196.2	73.6	74	SM400A	小型 ブラケット
1 Top	PL	380	X	25	710	196.2	35.5	36	SM400A	67 小型 ブラケット
2 Ring	PL	260	X	22	260	172.7	8.64	17	SM400A	74 小型 ブラケット
4 Rib	PL	150	X	22	218	172.7	5.65	23	SM400A	小型 ブラケット
6 ANC	DB	D 35		635	7.510	4.77	29	SD345	購入 ブラケット	
6 1種	NUT	M 33				0.291	2	SS400	購入 ブラケット	
6 3種	NUT3	M 33				0.241	1	SS400	購入 ブラケット	
6	WASH	M 33				0.085	1	SS400	購入 ブラケット	

小古曾A1落防 A1落橋防止 G4

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	外 枠	要素	備考
1	Base	PL	240	x	28	865	219.8	45.6	46	SM490YB	小型 ブラケット
1	Top	PL	377	x	25	825	196.2	39.7	40	SM400A	65 小型 ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.64	17	SM400A	74 小型 ブラケット
4	Rib	PL	88	x	22	140	172.7	2.13	9	SM400A	小型 ブラケット
8	2W	TCB	M22	x	115		0.658	5	S10T		購入 ブラケット
6	2W	TCB	M22	x	95		0.598	4	S10T		購入 ブラケット
1	Fill	PL	80	x	12	240	94.20	1.81	2	SS400	小型 ブラケット
2	Base	PL	160	x	22	210	172.7	5.80	12	SM400A	小型 ブラケット
2	Fig	PL	85	x	22	295	172.7	4.33	9	SM400A	小型 ブラケット
2	Rib	PL	80	x	22	193	172.7	2.67	5	SM400A	小型 ブラケット
4		TCB	M22	x	90		0.583	2	S10T		購入 ブラケット
2	Base	PL	160	x	22	210	172.7	5.80	12	SM400A	小型 ブラケット
2	Fig	PL	85	x	22	210	172.7	3.08	6	SM400A	小型 ブラケット
2	Rib	PL	80	x	22	193	172.7	2.67	5	SM400A	小型 ブラケット
4		TCB	M22	x	90		0.583	2	S10T		購入 ブラケット
1	Base	PL	500	x	25	750	196.2	73.6	74	SM400A	小型 ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.2	35.5	36	SM400A	67 小型 ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.64	17	SM400A	74 小型 ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23	SM400A	小型 ブラケット
6	ANC	DB	D 35		635	7.510	4.77	29	SD345		購入 ブラケット
6	1種	NUT	M 33				0.291	2	SS400		購入 ブラケット
6	3種	NUT3	M 33				0.241	1	SS400		購入 ブラケット
6		WASH	M 33				0.085	1	SS400		購入 ブラケット
G4											
A1落橋防止											
小古曾A1落防											
718 kg											

(単位:mm/kg)

HDZT49 小古曾A1落防 A1落橋防止 G1

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	ネット要素	要素	備考
6	ANC	DB	D 35		635	7.51	4.77	29	SD345	購入	ブラケット
6	1種	NUT	M 33			0.291	0.29	2	SS400	購入	ブラケット
6	3種	NUT3	M 33			0.241	0.24	1	SS400	購入	ブラケット
6		WASH	M 33			0.085	0.09	1	SS400	購入	ブラケット
								G1		33 kg	

A1落橋防止

HDZT49 小古曾A1落防 A1落橋防止 G4

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
6	ANC	DB	D 35		635	7.51	4.77	29	SD345	購入	ブラケット
6	1種	NUT	M 33			0.291	0.29	2	SS400	購入	ブラケット
6	3種	NUT3	M 33			0.241	0.24	1	SS400	購入	ブラケット
6		WASH	M 33			0.085	0.09	1	SS400	購入	ブラケット
								G4		33 kg	

A1落橋防止 66 kg

小古曾A1落防 66 kg

HDZT49 小古曾A1落防 A1落橋防止 G1

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
1	Base	PL	500	x	25	750	196.3	73.6	74	SM400A	小型 ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.3	35.5	35	SM400A	67 小型 ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.6	17	SM400A	74 小型 ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23	SM400A	小型 ブラケット
								G1		149 kg	

A1落橋防止

HDZT77 小古曾A1落防 A1落橋防止 G1

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
1	Base	PL	500	x	25	750	196.3	73.6	74	SM400A	小型 ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.3	35.5	35	SM400A	67 小型 ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.6	17	SM400A	74 小型 ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23	SM400A	小型 ブラケット
								G1		149 kg	

A1落橋防止 298 kg

小古曾A1落防 298 kg

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
1	Base	PL	500	x	25	750	196.3	73.6	74	SM400A	小型 ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.3	35.5	35	SM400A	67 小型 ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.6	17	SM400A	74 小型 ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23	SM400A	小型 ブラケット
								G1		149 kg	

A1落橋防止 298 kg

HDZT77 298 kg

塗装計算書

(単位:mm, m²)

小古曾AI落防 A1落橋防止 G1

部材名	材種	断面	長さ	外 面積	塗装面積			備考
					J	0.21 KR	0.21 K	
1 Base	PL	240 x	28	865	0.42 C-5	0.21		上部エフラケット
1 Top	PL	377 x	25	825	0.40 C-5	0.40		上部エフラケット
2 Ring	PL	260 x	22	260	74 -			控除
4 Rib	PL	88 x	22	140	0.02 C-5	0.08		上部エフラケット
8 2W	TCB	M22 x	115	0.04	F-11B	0.04		上部エフラケット
6 2W	TCB	M22 x	95	0.03	F-11B	0.03		上部エフラケット
1 Ffill	PL	80 x	12	240	-			控除
2 Base	PL	160 x	22	210	0.07 C-5	0.07	J	0.07 KR 0.07 K 0.14 主桁補強材
2 Flg	PL	85 x	22	295	0.05 C-5	0.05	J	0.05 KR 0.05 K 0.10 主桁補強材
2 Rib	PL	80 x	22	193	0.03 C-5	0.06	J	0.05 KR 0.06 K 0.06 主桁補強材
4 TCB	M22 x	90			0.02	F-11B	0.02	主桁補強材
2 Base	PL	160 x	22	210	0.07 C-5	0.07	J	0.07 KR 0.07 K 0.14 主桁補強材
2 Flg	PL	85 x	22	210	0.04 C-5	0.04	J	0.04 KR 0.04 K 0.08 主桁補強材
2 Rib	PL	80 x	22	193	0.03 C-5	0.06	J	0.04 KR 0.04 K 0.06 主桁補強材
4 TCB	M22 x	90			0.02	F-11B	0.02	主桁補強材
1 Base	PL	500 x	25	750				下部エフラケット
1 Top	PL	380 x	25	710	67			下部エフラケット
2 Ring	PL	260 x	22	260	74			下部エフラケット
4 Rib	PL	150 x	22	218				下部エフラケット
6 ANC	DB	D 35		635				下部エフラケット
6 NUT	M	M 33						下部エフラケット
6 NUT3	M	M 33						下部エフラケット
6 WASH	M	M 33						下部エフラケット
G1				C-5	1.04 J	0.44 F-11	F-11B	0.11 KR 0.44
K				1.48				
A1落橋防止								
下部エフラケットはメッキ処理にて請上								

小古曾AI落防 A1落橋防止 G4

部材名	材種	断面	長さ	外 面積	塗装面積			備考
					J	0.21 KR	0.21 K	
1 Base	PL	240 x	28	865	0.42 C-5	0.21		上部エフラケット
1 Top	PL	377 x	25	825	0.40 C-5	0.40		上部エフラケット
2 Ring	PL	260 x	22	260	74 -			控除
4 Rib	PL	88 x	22	140	0.02 C-5	0.08		上部エフラケット
8 2W	TCB	M22 x	115	0.04	F-11B	0.04		上部エフラケット
6 2W	TCB	M22 x	95	0.03	F-11B	0.03		上部エフラケット
1 Ffill	PL	80 x	12	240	-			控除
2 Base	PL	160 x	22	210	0.07 C-5	0.07	J	0.07 KR 0.07 K 0.14 主桁補強材
2 Flg	PL	85 x	22	295	0.05 C-5	0.05	J	0.05 KR 0.05 K 0.10 主桁補強材
2 Rib	PL	80 x	22	193	0.03 C-5	0.06	J	0.06 KR 0.06 K 0.06 主桁補強材
4 TCB	M22 x	90			0.02	F-11B	0.02	主桁補強材
2 Base	PL	160 x	22	210	0.07 C-5	0.07	J	0.07 KR 0.07 K 0.14 主桁補強材
2 Flg	PL	85 x	22	210	0.04 C-5	0.04	J	0.04 KR 0.04 K 0.06 主桁補強材
2 Rib	PL	80 x	22	193	0.03 C-5	0.06	J	0.04 KR 0.04 K 0.06 主桁補強材
4 TCB	M22 x	90			0.02	F-11B	0.02	主桁補強材
1 Base	PL	500 x	25	750				下部エフラケット
1 Top	PL	380 x	25	710	67			下部エフラケット
2 Ring	PL	260 x	22	260	74			下部エフラケット
4 Rib	PL	150 x	22	218				下部エフラケット
6 ANC	DB	D 35		635				下部エフラケット
6 NUT	M	M 33						下部エフラケット
6 NUT3	M	M 33						下部エフラケット
6 WASH	M	M 33						下部エフラケット
G4				C-5	1.04 J	0.44 F-11	F-11B	0.11 KR 0.44
K				1.48				
A1落橋防止								
下部エフラケットはメッキ処理にて請上								

部材名	材種	断面	長さ	外 面積	塗装面積			備考
					J	0.21 KR	0.21 K	
1 Base	PL	240 x	28	865	0.42 C-5	0.21		上部エフラケット
1 Top	PL	377 x	25	825	0.40 C-5	0.40		上部エフラケット
2 Ring	PL	260 x	22	260	74 -			控除
4 Rib	PL	88 x	22	140	0.02 C-5	0.08		上部エフラケット
8 2W	TCB	M22 x	115	0.04	F-11B	0.04		上部エフラケット
6 2W	TCB	M22 x	95	0.03	F-11B	0.03		上部エフラケット
1 Ffill	PL	80 x	12	240	-			控除
2 Base	PL	160 x	22	210	0.07 C-5	0.07	J	0.07 KR 0.07 K 0.14 主桁補強材
2 Flg	PL	85 x	22	295	0.05 C-5	0.05	J	0.05 KR 0.05 K 0.10 主桁補強材
2 Rib	PL	80 x	22	193	0.03 C-5	0.06	J	0.06 KR 0.06 K 0.06 主桁補強材
4 TCB	M22 x	90			0.02	F-11B	0.02	主桁補強材
2 Base	PL	160 x	22	210	0.07 C-5	0.07	J	0.07 KR 0.07 K 0.14 主桁補強材
2 Flg	PL	85 x	22	210	0.04 C-5	0.04	J	0.04 KR 0.04 K 0.06 主桁補強材
2 Rib	PL	80 x	22	193	0.03 C-5	0.06	J	0.04 KR 0.04 K 0.06 主桁補強材
4 TCB	M22 x	90			0.02	F-11B	0.02	主桁補強材
1 Base	PL	500 x	25	750				下部エフラケット
1 Top	PL	380 x	25	710	67			下部エフラケット
2 Ring	PL	260 x	22	260	74			下部エフラケット
4 Rib	PL	150 x	22	218				下部エフラケット
6 ANC	DB	D 35		635				下部エフラケット
6 NUT	M	M 33						下部エフラケット
6 NUT3	M	M 33						下部エフラケット
6 WASH	M	M 33						下部エフラケット
G4				C-5	1.04 J	0.44 F-11	F-11B	0.11 KR 0.44
K				1.48				
A1落橋防止								
下部エフラケットはメッキ処理にて請上								

材料計算書

(単位:mm,kg)

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G1

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	外 枠	要素	備考
2	PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48	SM490YB	小型	ブレケット
1	PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28	SM400A	小型	ブレケット
3	2W	TCB	M22	x	125		0.688	2	S10T	購入	ブレケット
2	TCB	M22	x	120			0.673	1	S10T	購入	ブレケット
10	TCB	M22	x	65			0.508	5	S10T	購入	ブレケット
G1											
2@ G1											
376 kg											

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G4

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	外 枠	要素	備考
2	PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48	SM490YB	小型	ブレケット
1	PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28	SM400A	小型	ブレケット
3	2W	TCB	M22	x	125		0.688	2	S10T	購入	ブレケット
2	TCB	M22	x	120			0.673	1	S10T	購入	ブレケット
10	TCB	M22	x	65			0.508	5	S10T	購入	ブレケット
G4											
2@ G4											
376 kg											
起点側											
752 kg											

材料計算書

(単位:mm,kg)

小古曾P1落防 P1落橋防止 終点側 G1

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	外 枠	要素	備考
2	PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48	SM490YB	小型	ブレケット
1	PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28	SM400A	小型	ブレケット
3	2W	TCB	M22	x	125		0.688	2	S10T	購入	ブレケット
2	TCB	M22	x	120			0.673	1	S10T	購入	ブレケット
10	TCB	M22	x	65			0.508	5	S10T	購入	ブレケット
								G1		188 kg	
								20@ G1		376 kg	

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G4

員数	部材名	材種	断面	長さ	単位重量	单品重量	重量	材質	外 枠	要素	備考
2	PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37	SM400A	小型	ブレケット
2	PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4	SM490A	小型	ブレケット
1	PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30	SM400A	小型	ブレケット
1	PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48	SM490YB	小型	ブレケット
1	PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28	SM400A	小型	ブレケット
3	2W	TCB	M22	x	125		0.688	2	S10T	購入	ブレケット
2	TCB	M22	x	120			0.673	1	S10T	購入	ブレケット
10	TCB	M22	x	65			0.508	5	S10T	購入	ブレケット
								G4		188 kg	
								2@ G4		376 kg	
								終点側		752 kg	
								P1落橋防止		1504 kg	
								小古曾P1落防		1504 kg	

塗装計算書

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G1

(単位:mm.m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ ヤット	面積	塗装面積			備考
2	PL	78	x	22	353	0.06	C-5	0.12	K 0.12 上部エフラケット
2	PL	300	x	22	353	0.21	C-5	0.42	K 0.42 上部エフラケット
2	PL	123	x	22	340	0.08	C-5	0.16	K 0.16 上部エフラケット
1	PL	180	x	22	290	0.10	C-5	0.10	K 0.10 上部エフラケット
1	PL	130	x	22	180	0.05	C-5	0.05	K 0.05 上部エフラケット
1	PL	363	x	22	470	0.34	C-5	0.34	K 0.34 上部エフラケット
1	PL	440	x	28	500	—			控除
1	PL	600	x	9	660	0.79	C-5	0.40	J 0.40 KR 0.40 K 0.79 上部エフラケット
3 2W	TCB	M22	x	125		0.02			上部エフラケット
2	TCB	M22	x	120		0.01			上部エフラケット
10	TCB	M22	x	65		0.05			上部エフラケット

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G4

員数	部材名	材種	断面	長さ ヤット	面積	塗装面積			備考
2	PL	78	x	22	353	0.06	C-5	0.12	K 0.12 上部エフラケット
2	PL	300	x	22	353	0.21	C-5	0.42	K 0.42 上部エフラケット
2	PL	123	x	22	340	0.08	C-5	0.16	K 0.16 上部エフラケット
1	PL	180	x	22	290	0.10	C-5	0.10	K 0.10 上部エフラケット
1	PL	130	x	22	180	0.05	C-5	0.05	K 0.05 上部エフラケット
1	PL	363	x	22	470	0.34	C-5	0.34	J 0.40 KR 0.40 K 0.79 上部エフラケット
1	PL	440	x	28	500	—			控除
1	PL	600	x	9	660	0.79	C-5	0.40	J 0.40 KR 0.40 K 0.79 上部エフラケット
3 2W	TCB	M22	x	125		0.02			上部エフラケット
2	TCB	M22	x	120		0.01			上部エフラケット
10	TCB	M22	x	65		0.05			上部エフラケット
		G4		C-5	159	J	0.40	F-11	F-11B 0.08 KR 0.40
				K	198				
		2@ G4		C-5	3.17	J	0.79	F-11	F-11B 0.16 KR 0.79
				K	3.96				
		起点側		C-5	6.34	J	1.58	F-11	F-11B 0.32 KR 1.58
				K	7.92				

小古曾P1落防 P1落橋防止 終点側 G1

(単位:mm.m²)

員数	部材名	材種	断面	長さ ヤット	面積	塗装面積		備考
2	PL	78	x	22	353	0.06	C-5	0.12 K 0.12 上部エフラケット
2	PL	300	x	22	353	0.21	C-5	0.42 K 0.42 上部エフラケット
2	PL	123	x	22	340	0.08	C-5	0.16 K 0.16 上部エフラケット
1	PL	180	x	22	290	0.10	C-5	0.10 K 0.10 上部エフラケット
1	PL	130	x	22	180	0.05	C-5	0.05 K 0.05 上部エフラケット
1	PL	363	x	22	470	0.34	C-5	0.34 K 0.34 上部エフラケット
1	PL	440	x	28	500	-		
1	PL	600	x	9	660	0.79	C-5	0.40 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
3 2W	TCB	M22	x	125		0.02		F-11B 0.02 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
2	TCB	M22	x	120		0.01		F-11B 0.01 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
10	TCB	M22	x	65		0.05		F-11B 0.05 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット

小古曾P1落防 P1落橋防止 終点側 G4

員数	部材名	材種	断面	長さ ヤット	面積	塗装面積		備考
2	PL	78	x	22	353	0.06	C-5	0.12 K 0.12 上部エフラケット
2	PL	300	x	22	353	0.21	C-5	0.42 K 0.42 上部エフラケット
2	PL	123	x	22	340	0.08	C-5	0.16 K 0.16 上部エフラケット
1	PL	180	x	22	290	0.10	C-5	0.10 K 0.10 上部エフラケット
1	PL	130	x	22	180	0.05	C-5	0.05 K 0.05 上部エフラケット
1	PL	363	x	22	470	0.34	C-5	0.34 K 0.34 上部エフラケット
1	PL	440	x	28	500	-		
1	PL	600	x	9	660	0.79	C-5	0.40 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
3 2W	TCB	M22	x	125		0.02		F-11B 0.02 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
2	TCB	M22	x	120		0.01		F-11B 0.01 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
10	TCB	M22	x	65		0.05		F-11B 0.05 J 0.40 KR 0.40 K 上部エフラケット
		G 4		C-5	159 J	0.40	F-11	F-11B 0.08 KR 0.40
		K			1.98			
		2@ G 4		C-5	3.17 J	0.79	F-11	F-11B 0.16 KR 0.79
		K			3.96			
		終点側		C-5	6.34 J	1.58	F-11	F-11B 0.32 KR 1.58
		K			7.92			
		P1落橋防止		C-5	1268 J	3.16	F-11	F-11B 0.64 KR 3.16
		K			1584			
		小古曾P1落防		C-5	1268 J	3.16	F-11	F-11B 0.64 KR 3.16
		K			1584			

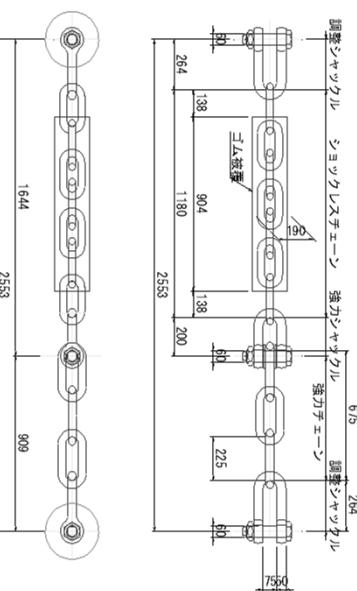
落橋防止構造(その他) 数量計算書

小古曾橋
その他数量集計表

工種・種別	単位	数量			備考	
		A1橋台	P1橋脚	A2橋台		
高力ボルト本締め工	TCB M22 (S10T)	本	44	120	-	164
表面処理工		横向き	m ²	0.75	-	0.75
鉄筋探査工		横向き	m ²	0.75	-	0.75
コンクリート削孔		横向き	本	12	-	12
アンカー注入工		横向き	本	12	-	12
樹脂注入工	水平：エボキシ樹脂注入材	m	6.42	-	-	6.4
落橋防止構造取付工	緩急チエーン(5型3リック，許容荷重 825kN)	基	2	-	-	2
ブランケット取付工	422kN用	基	-	4	-	4
現場孔明工	φ 24.5	上部工側	基	2	8	10
		下部工側	基	2	-	2
不陸調整材	樹脂ハーネス($\gamma = 1700 \text{kg/m}^3$)	箇所		120	-	120
シーリング材	△20mm×20mm	kg	6.375	-	-	6.375
		m	4.010	-	-	4.010

落橋防止構造
A1橋台 G1, G4

(1) 落橋防止構造設置工
緩急チエー・5型3リノク, 許容荷重 825kN タイプ
= 2 基



(2) アンカー・ボルト設置工

1). 表面処理工

横向き

下部工側 G1, G4
 $A = 0.500 \times 0.750 \times 2$ 基
 $\Sigma A = 0.75 \text{ m}^2$

2). 鉄筋探査工

横向き 表面処理工面積と同じ

3). コンクリート (コアボーリング)

横向き

下部工側
 $\phi 45 \times 535 \text{ n} = 6 \times 2$ 基 本
 $0.535 \times 12 = 6.42 \text{ m}$

4). アンカーブレード

横向き

下部工側
 $\phi 45 \times 535 \text{ n} = 6 \times 2$ 基 本
 $0.535 \times 12 = 6.42 \text{ m}$

5). 工事キシ・樹脂注入材 ($\gamma = 1200 \text{ kg/m}^3$) (口ズ率+15%)

横向き
 $\phi 45 \times 535 \text{ n} = 6 \times 2$ 基 本
 $0.535 \times 12 = 6.42 \text{ m}$

(3) ブラケット取付工

上部工側
n = 2 基 x 1 箇所

下部工側
n = 2 基 x 1 箇所

$$= 2 \text{ 基}$$

(4) 現場孔明工

主桁補強

① $\phi 26.5$ 孔 (主桁WEB)	n = 8 x 1 基 x 2 箇所	= 16 箇所
② $\phi 26.5$ 孔 (主桁L. FLG)	n = 14 x 1 基 x 2 箇所	= 28 箇所
	<hr/> $\Sigma = 44$ 箇所	<hr/>

(5) 不陸調整材 樹脂パネ材 ($\gamma = 1700\text{kg/m}^3$)

G1, G4

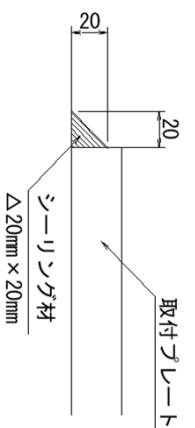
A = 0.500 x 0.750 x 2 箇所
W = 0.750 x 0.005 x 1700

$$= 0.750 \text{ m}^2$$

$$= 6.375 \text{ kg}$$

(6) シーリング材 $\triangle 20\text{mm} \times 20\text{mm}$

L = (0.500 + 0.750) x 2 x 1 箇所	= 2.500 m
= (0.750 + 0.005) x 2 x 1 箇所	= 1.510 m
	合計 = 4.010 m



落橋防止構造
P1橋脚 G1, G4

(1) 落橋防止構造設置工
422kNタイブ L = 3152 mm = 4 基

材料表(落橋防止構造1組当たり)

全4組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンショーン) (ガイドパイプ)	422kN 3152mm 422kN用 標準 600mm	本	1 2	PC鋼より線、ポリエチレン被覆 SCM435;ねじきり標準 <ケーブルに組込>
ナット	422kN用	個	2	ボリエチレン <ケーブルに組込>
止めフレート	422kN用	個	2	S45C;亜鉛めっき(HDZT77)
スプリング	422kN用 L=450	個	2	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZT77) SW-C;亜鉛めっき、クロメート処理
緩衝具	422kN用	個	2	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZT77) + 合成ゴム
偏向具 (取付ボルト)	422kN用 M16x50 1W付	個	2	ボリエチレン
保護キャップ	422kN用	組	2	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZT49)接着剤付 ポリエチレン;8-止めビス付

(2) ブラケット取付工

上部工側
 $n = 2$ 基 \times 4 箇所 = 8 基

(3) 現場孔明工

主桁補強
① $\phi 24.5$ 孔 (主桁WEB)
 $n = 30 \times 2$ 基 $\times 2$ 箇所 = 120 箇所

水平力分担構造 数量計算書
(小古曽橋)

数量総括表(小古量積)

名 称	規 格	単位	数 量					備 考
			A1 梱合	P1 溝脚A1側	P1 溝脚A2側	A2 梱合	合計	
水平力分担構造設置工		箇所	6	4	4	-	14	
工場製作 製品購入								
取付金具等								
SM490C	105 55 45	kg	60 1,240 kg	96 44 kg	-	-	96 104 1,240 0	
鋼重小計		kg	60	1,336	44	-	1,440	(18)
(材片數)		個	(6)	(8)	(4)	-	-	
SM490B	38 36 28	kg	726 726 kg	200 508 316 72 kg	200 200 508 388 kg	-	200 1,234 388	
鋼重小計		kg	726	516	580	-	1,822	
(材片數)		個	(6)	(16)	(8)	-	(30)	
SM490A	25 22	kg	84 84	68 68	0 0	-	0 152	
鋼重小計		kg	84	68	0	-	152	
(材片數)		個	(6)	(8)	(0)	-	(14)	
SM490A	28 25	kg	132 132	88 88	-	-	220	
鋼重小計		kg	132	88	-	-	220	
SS400	22 22 18 17 16 14 13 12	kg	226 226 358 358 kg	0 0 268 268 kg	-	-	338 338 626 626 0	
鋼重小計		kg	226	0	-	-	338 338 626 626	
(材片數)		個	(30)	(0)	(20)	-	(50)	
S10T	23 22 18 17 16 14 13 12	kg	167 167 138 138 kg	112 112 7 112 kg	-	-	167 167 257 257 0	
鋼重小計		kg	167	112	-	-	167 167 257 257	
(材片數)		個	(70)	(46)	(46)	-	(162)	
鋼重合計		kg	1,438	2,322	1,067	-	4,827	
(材片數合計)		個	(70)	(46)	(46)	-	(162)	
M22	X 80	kg	10	10	-	-	10	
M22	X 105	kg	16	12	12	-	16	(20V)
M22	X 115	kg	66	52	52	-	36	(20V)
M22	X 130	kg	96	80	80	-	118	
M24	X 155	kg	96	-	-	-	176	
D25	X 500L	本	24	108	64	-	260	
D25	X 505L	kg	48	-	-	-	48	
アンカーボルト	SD345	D25	本	16	16	-	16	
ナット(アンカー用)	SS400	D29	X 570L	32	32	-	32	
ワッシャー(アンカー用)	SS400	M24	(3種)	6	4	-	10	
		M24	(1種)	24	16	-	40	
		M27	(3種)	6	4	-	10	
		M27	(1種)	32	32	-	32	
		M27	(4種)	8	8	-	8	
		M24	個	24	16	-	40	
		M24	個	6	4	-	10	
		M27	個	32	32	-	32	
		M27	kg	4	4	-	4	

数量総括表(小古曾機)

名 称	規 格	単位	数 量				備 考
			A1橋台	P1橋脚A1側	P1橋脚A2側	A2橋台	
塗装工							
工場塗装(C-5) (鋼材重量)		kg	1294	2026	951	-	4271 (下地工費付)アブリケートを除く鋼材重量 (鋼材合計・溶接薬粉・シール工・工具塗装器具重量)
(塗装面積)							
素地調整		m ²	12.049	13.420	8.872	-	34.341 無機ジンクリッチペイント
防食処理		m ²	12.049	13.420	8.872	-	34.341 無機ジンクリッチペイント
ミストコート		m ²	5.396	5.554	3.686	-	14.636 エボキシ樹脂塗料下塗
下塗		m ²	5.396	5.554	3.686	-	14.636 エボキシ樹脂塗料下塗
中塗		m ²	5.396	5.554	3.686	-	14.636 ふつ素樹脂塗料中塗
上塗		m ²	5.396	5.554	3.686	-	14.636 ふつ素樹脂塗料上塗
既設部材素地調整		m ²	1.336	1.374	0.988	-	3.708 3種ケレン
素地調整		m ²	0.648	0.676	0.486	-	1.810 変性エボキシ樹脂塗料下塗
ミストコート		m ²	0.648	0.676	0.486	-	1.810 超厚膜形エボキシ樹脂塗料
下塗(2回)		m ²	0.648	0.676	0.486	-	1.810 超厚膜形エボキシ樹脂塗料
中塗		m ²	0.648	0.676	0.486	-	1.810 ふつ素樹脂塗料中塗
上塗		m ²	0.648	0.676	0.486	-	1.810 ふつ素樹脂塗料上塗
溶融重鉛メッシュ							
溶融重鉛メッシュ(工場塗装)		kg	144	296	116	-	556 鋼製架台
溶融重鉛メッシュ		HDZT77					
PRF緩衝ビン							
ナット	S45CN	φ80	×	270	本	-	-
ワッシャー	SS400	M76	(種)	個		-	-
スペーサー	SS400	φ200	×	19t	枚		-
割りビン	SS400	φ200	×	30t	枚		-
割りビン	SUSS04	φ10	×	110	本		-
PRF緩衝ビン							
ナット	S45CN	φ70	×	245	本	4	4
ワッシャー	SS400	M68	(種)	個	4	4	4
スペーサー	SS400	φ260	×	25t	枚	4	4
スペーサー	SS400	φ260	×	30t	枚	4	4
割りビン	SUSS04	φ13	×	150	本	4	4
PRF緩衝ビン							
ナット	S45CN	φ65	×	330	本	4	4
ワッシャー	SS400	M64	(種)	個	6	6	6
スペーサー	SS400	φ180	×	16t	枚	6	6
スペーサー	SS400	φ180	×	30t	枚	6	6
割りビン	SUSS04	φ10	×	100	本	6	6
現場施工							
芯出し調整工							
現場孔明工							
鉛錆探査							
下地処理(チッピング)							
アンカーフレーナー							
アンカーフレーナー							
樹脂接着剤							
合計							
台座取付工							
連続板等取付工							
高力ボルト締付工							
	S10T	M22	本	96	96	96	

使用箇所	形 状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
7. A1 橋台 数量計算							
(1) 鋼材重量							
上部工取付金具	鋼種 : SM490						
G1 (G2側)・G2 (G3側)・G3 (G2側)・G4 (G3側)	設置数 = 6 基						
Top PL	685 × 36	1418	1	193.6	121	SM490B	N=44
					小計	726	
主桁補強材	鋼種 : SM400						
G1 (G2側)・G4 (G3側)	設置数 = 2 基						
Spi PL	170 × 22	790	1	29.4	23	SM400A	
Base PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A	
Rib PL	142.5 × 22	280	2	24.6	14	SM400A	
トルシア形高力ボルト	TCB M22(2W)	80	8	0.605	5	S10T	2W
トルシア形高力ボルト	TCB M22	115	16	0.658	11	S10T	
G2 (G1側)・G3 (G4側)	設置数 = 2 基						
Spi PL	170 × 22	790	1	29.4	23	SM400A	
Base PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A	
Rib PL	157.5 × 22	280	2	27.2	15	SM400A	
トルシア形高力ボルト	TCB M22(2W)	105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト	TCB M22	115	16	0.658	11	S10T	
G2 (G3側)・G3 (G2側)	設置数 = 2 基						
Spi PL	170 × 22	790	1	29.4	23	SM400A	
Base PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A	
Rib PL	157.5 × 22	280	2	27.2	15	SM400A	
トルシア形高力ボルト	TCB M22(2W)	105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト	TCB M22	115	16	0.658	11	S10T	

塗装面積算出

		A1橋台			塗装面積算出		
名 称		形 状 (mm)	枚 数	面	面 積(m ²)	備 考 (NET)	摘要
上部工取付金具							
G1(G2側)・G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)・G4(G3側)			6	2	5.129	44%	
Top-PL	685	1418					
				計	5.129		
場							
プラスト処理・防食下地							
主桁補強材							
G1(G2側)・G4(G3側)							
Spl-PL	170	790	2	2	0.537	100%	
Base-PL	200	250	4	2	0.400	100%	
Rib-PL	142.5	280	4	2	0.319	100%	
塗							
G2(G1側)・G3(G4側)							
Spl-PL	170	790	2	2	0.537	100%	
Base-PL	200	250	4	2	0.400	100%	
Rib-PL	157.5	280	4	2	0.353	100%	
装							
G2(G3側)・G3(G2側)							
Spl-PL	170	790	2	2	0.537	100%	
Base-PL	200	250	4	2	0.400	100%	
Rib-PL	157.5	280	4	2	0.353	100%	
C-5				計	3.836		
場							
フライープレート							
G1(G2側)・G4(G3側)							
TYPE-1							
Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
TYPE-2							
Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
G2(G1側)・G3(G4側)							
TYPE-1							
Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
TYPE-2							
Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
塗							
G2(G3側)・G3(G2側)							
TYPE-1							
Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
TYPE-2							
Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
装							
添接板							
Spl-PL	170	790	6	2	1.612	100%	
				計	3.084		
C-5				計	12.049		

名 称	形 状 (mm)		枚 数	面	面 積(m ²)	備 考 (NET)	摘要
	幅	長 さ					
上 部 工 取 付 金 具							
G1(G2側)・G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)・G4(G3側)							
Top-PL	685	1418	6	2	5.129	44%	
控 除	80	790	6	2	-0.758	100%	連 結 部
				計	4.371		
場							
ミストローラ・下塗・中塗・上塗							
主 桁 補 強 材							
G1(G2側)・G4(G3側)							
Rib-PL	142.5	280	4	2	0.319	100%	
G2(G1側)・G3(G4側)							
Rib-PL	157.5	280	4	2	0.353	100%	
G2(G3側)・G3(G2側)							
Rib-PL	157.5	280	4	2	0.353	100%	
装				計	1.025		
C-5				計	5.396		
塗							
G1(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	360	2	1	0.058	100%	3種ケレン
(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	790	1	1	0.063	100%	3種ケレン
(主 桁 ウ ェ ブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
G2(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	790	2	1	0.126	100%	3種ケレン
(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	360	2	1	0.058	100%	3種ケレン
(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	790	1	1	0.063	100%	3種ケレン
(主 桁 ウ ェ ブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
G3(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	360	2	1	0.058	100%	3種ケレン
(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	790	1	1	0.063	100%	3種ケレン
(主 桁 ウ ェ ブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	790	2	1	0.126	100%	3種ケレン
G4(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	360	2	1	0.058	100%	3種ケレン
(主 桁 ウ ェ ブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
(主 桁 下 フ ラ ン ジ)	80	790	1	1	0.063	100%	3種ケレン
(主 桁 ウ ェ ブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
現 場 塗 装							
				計	1.336		
ミストローラ・下塗・中・上塗り							
T.C.B		5.06m ² / 1000 ×		16	0.081		
T.C.B		(デサインデーターブックより)					
T.C.B		5.06m ² / 1000 ×		16	0.081		
T.C.B		(デサインデーターブックより)					
T.C.B		5.06m ² / 1000 ×		96	0.486		
		(デサインデーターブックより)					
F-11				計	0.648		

種別	計	算式	単位	数量
8. A1橋台 その他部材 数量計算				
現場孔明工				
下フランジ削孔				
	$\phi 24.5$	$8 \times 6 =$	箇所	48
ウェーブ削孔				
	$\phi 24.5$	$8 \times 4 =$	箇所	32
素地調整工(芯出し面積)				
主桁下フランジ側				
$0.080 \times 0.790 \times 2 \times 6 =$	0.759	m^2	0.759	
主桁ウェーブ側				
$0.200 \times 0.250 \times 2 \times 6 =$	0.600	m^2	0.600	
アンカーフレーバー				
	$\phi 35 \times 385 \times 4本 \times 6 =$	24 本	24	
	0.385 4本 $\times 6 =$	9.24 m	9.24	
樹脂接着剤(鉄筋定着)				
	$(0.035^2 \times \pi / 4 \times 0.385 - 0.025^2 \times \pi / 4 \times 0.375) \times 24 \times 1,200 =$	kg	5.37	
				(1本あたり0.224kg)

種別	計	算式	単位	数量
筋筋探査				
		※鉄筋探査の範囲は、鋼製枠から+50mmの範囲で形状		
		0.330 × 0.450 × 6 = 0.891	m ²	0.89
台座調整モルタル工				
		中心厚さ		
G1(G2側)	0.330	× 0.450 × 0.048 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G2(G1側)	0.330	× 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G2(G3側)	0.330	× 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G3(G2側)	0.330	× 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G3(G4側)	0.330	× 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G4(G3側)	0.330	× 0.450 × 0.048 × 1 = 0.008	m ³	0.008
		(合計)	m ³	0.05
型枠工				
G1(G2側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.048 × 1	= 0.070	m ²	0.07
G2(G1側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1	= 0.080	m ²	0.08
G2(G3側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1	= 0.080	m ²	0.08
G3(G2側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1	= 0.080	m ²	0.08
G3(G4側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1	= 0.080	m ²	0.08
G4(G3側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.048 × 1	= 0.070	m ²	0.07
		(合計)	m ²	0.46
下地処理(チッピング)				
	0.330 × 0.450 × 6 = 0.891	m ²	0.90	

使用箇所	形 状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼材集計	鋼材重量						
		t=105			96	SM490C	
		t=55			1,240	SM490C	
		t=38			200	SM490B	
		t=28			316	SM490B	
		t=22			68	SM490A	
		t=28			228	SS400	
		t=23			167	SS400	
		t=22			7	SS400	
				合計	2,322	kg	
	TCB M22(2W)	×	105		12	kg	2W
	TCB M22(2W)	×	105		16	本	
	TCB M24	×	155		96	kg	
	TCB M24	×	155		96	本	
	アンカーボルト	D29	×	570	32	本	SD345
	ナット1種	M27			96	kg	SD345
	ナット1種	M27			32	個	SS400
	ナット3種	M27			8	kg	SS400
	ワッシャー	M27			32	個	SS400
					4	kg	SS400
					32	個	SS400
					4	kg	SS400
	(2)PRF緩衝ビン						
	PRF緩衝ビン	φ105	×	330	4	本	S45CN
	ナット	M100	(1種)		4	個	SS400
	ワッシャー	φ260	t=25		4	枚	SS400
	スペーサー	φ260	t=30		4	枚	ゴム
	割ピン	φ13	×	150	4	本	SUS304
	(3)塗装工						
	工場塗装	(鋼材重量)	鋼材全重量	メッシュ重量			
		W= 2,322	- 296		=	2026	kg
	(塗装面積)						
	工場塗装(C-5)	(プラスト処理・防食下地)					
	A= 5.742	+	3.664	+	=	13.420	m ²
	工場塗装(C-5)	(ミストコート・下塗・中塗・上塗)					
	A= 4.758	+	0.796		=	5.554	m ²
	現場塗装(F-11)	(ミストコート・下塗・中塗・上塗)					
	A= 0.676				=	0.676	m ²
	(4)溶融亜鉛メッキ工						
	溶融亜鉛メッキ		鋼材重量合計より		296	kg	HDZT77
	溶融亜鉛メッキ	鋼材重量合計より			38	kg	HDZT49

塗装面積算出

名 称		P1橋脚A1側		枚数	面 積(m ²)	備考 (NET)	摘要
	幅 長さ						
上部工取付金具							
G2(G1側)・G3(G4側)							
G2(G1側) Top-PL	745	1828	2	2	2.833	52%	
G2(G3側) Top-PL	645	1828	1	2	1.273	54%	
G3(G2側) Top-PL	895	1828	1	2	1.636	50%	
					計	5.742	
場	ブ ラ スト 处 理	・ 防 食 下 地					
塗	主析補強材						
工	G2(G1側)						
装	Spl-PL	210	1230	1	2	0.517	100%
場	Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%
塗	Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%
工	G2(G3側)						
装	Spl-PL	210	1230	1	2	0.517	100%
場	Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%
塗	Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%
工	G3(G2側)						
装	Spl-PL	210	1230	1	2	0.517	100%
場	Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%
塗	G3(G4側)						
工	Spl-PL	210	1230	1	2	0.517	100%
装	Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%
場	Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%
塗	C-5				計	3.664	
工	フライ-フレート						
装	G2(G1側)						
場	TYPE-1						
塗	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
工	TYPE-2						
装	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
場	G2(G3側)						
塗	TYPE-1						
工	Fill-PL	100	390	1	2	0.078	100%
装	TYPE-2						
場	G3(G2側)						
塗	TYPE-1						
工	Fill-PL	100	790	1	2	0.158	100%
装	TYPE-2						
場	G3(G3側)						
塗	TYPE-1						
工	Fill-PL	100	390	1	2	0.078	100%
装	TYPE-2						
場	G3(G4側)						
塗	TYPE-1						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						
場	Fill-PL	210	1230	4	2	2.066	100%
塗	TYPE-2						
工	Fill-PL	100	1230	1	2	0.246	100%
装	添接板						

名 称	形狀(mm)		枚数	面	面積(m ²)	備考 (NET)	摘要	
	幅	長さ						
上部工取付金具								
G2(G1側)・G3(G4側)								
Top-PL	745	1828	2	2	2.833	52%		
控除	100	1230	2	2	-0.492	100%	連結部	
G2(G3側)								
Top-PL	645	1828	1	2	1.273	54%		
控除	100	1230	1	2	-0.246	100%	連結部	
G3(G2側)								
Top-PL	895	1828	1	2	1.636	50%		
控除	100	1230	1	2	-0.246	100%	連結部	
					計	4.758		
塗装	III ストローラ・下塗・中塗・上塗							
主析補強材								
G2(G1側)								
Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%		
G2(G3側)								
Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%		
G3(G2側)								
Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%		
G3(G4側)								
Rib-PL	177.5	280	2	2	0.199	100%		
					計	0.796		
C-5					計	5.554		
G2(主析下フランジ)	100	1230	2	1	0.246	100%	3種ケレン	
(主析下フランジ)	100	390	1	1	0.039	100%	3種ケレン	
既設部材下地処理	(主析下フランジ)	100	790	1	1	0.079	100%	3種ケレン
(主析ウェブ)	100	1230	1	1	0.123	100%	3種ケレン	
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン	
G3(主析下フランジ)	100	790	1	1	0.079	100%	3種ケレン	
(主析下フランジ)	100	390	1	1	0.039	100%	3種ケレン	
(主析下フランジ)	100	1230	1	1	0.123	100%	3種ケレン	
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.246	100%	3種ケレン	
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン	
					合計	1.374		
III ストローラ・下・中・上塗り	T.C.B	5.06m ² / 1000 × (デサインデーターパックより)	16	0.081				
T.C.B	6.20m ² / 1000 × (デサインデーターパックより)	96	0.595					
F-11					計	0.676		

種別	計算式	単位	数量
6. P1橋脚A1側 その他部材 数量計算			
現場孔明工			
下フランジ削孔			
	$\phi 26.5 \times 12 \times 4 = 48$	箇所	48
ウエーブ削孔			
	$\phi 24.5 \times 8 \times 2 = 16$	箇所	16
現場孔明工合計		箇所	64
素地調整工(芯出し面積)			
主桁下フランジ側			
	$0.100 \times 1.230 \times 2 \times 4 = 0.984$	m^2	0.984
主桁ウエーブ側			
	$0.200 \times 0.250 \times 2 \times 4 = 0.400$	m^2	0.400
アンカー筋削孔			
	$\phi 39 \times \phi 445 \times 8本 \times 4 = 32$	本	32
	$0.445 \times 8本 \times 4 = 14.24$	m	14.24
樹脂接着剤(鉄筋定着)			
	$(0.039^2 \times \pi / 4 \times 0.445 - 0.029^2 \times \pi / 4 \times 0.435) \times 32 \times 1,200 = 9.380$	kg	9.38 (1本あたり:0.293kg)
台座調整モルタル工	中心厚さ		
	$0.510 \times 0.510 \times 0.035 \times 4 = 0.037$	m^3	0.04
型枠工			
	$(0.510 + 0.510) \times 2 \times 0.035 \times 4 = 0.290$	m^2	0.29
下地処理(チッピング)			
	$0.510 \times 0.510 \times 4 = 1.040$	m^2	1.04

使用箇所	形 状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
3. P1 橋脚A2側 数量計算							
(1) 鋼材重量							
上部工取付金具		鋼種 : SM400					
G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)		設置数 = 4 基					
Top PL	600 × 36		1558	1	169.6	127	SM400B N=48
主桁補強材							
	鋼種 : SM400						
G2(G1側)							
Spi PL	170 × 22		950	1	29.4	28	SM400A
Base PL	200 × 28		250	2	44.0	22	SM400A
Rib PL	157.5 × 25		280	2	30.9	17	SM400A
トルシア形高力ボルト							
TCB M22(2W)		105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
G3(G2側)							
Spi PL	170 × 22		950	1	29.4	28	SM400A
Base PL	200 × 28		250	2	44.0	22	SM400A
Rib PL	157.5 × 25		280	2	30.9	17	SM400A
トルシア形高力ボルト							
TCB M22(2W)		105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
G3(G4側)							
Spi PL	170 × 22		950	1	29.4	28	SM400A
Base PL	200 × 28		250	2	44.0	22	SM400A
Rib PL	157.5 × 25		280	2	30.9	17	SM400A
トルシア形高力ボルト							
TCB M22(2W)		105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
G3(G4側)							
Spi PL	170 × 22		950	1	29.4	28	SM400A
Base PL	200 × 28		250	2	44.0	22	SM400A
Rib PL	157.5 × 25		280	2	30.9	17	SM400A
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力ボルト							
TCB M22		115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高力							

塗装面積算出

P1橋脚A2側

名 称	形狀(mm)		枚数	面	面積(m ²)	備考 (NET)	摘要
	幅	長さ					
上部工取付金具							
G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)							
Top-PL	600	1558	4	2	3.590	48%	
				計	3.590		
工							
主桁補強材							
ブースト処理・防食下地							
場							
G2(G1側)							
Spl-PL	170	950	1	2	0.323	100%	
Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%	
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
G2(G3側)							
Spl-PL	170	950	1	2	0.323	100%	
Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%	
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
塗							
G3(G2側)							
Spl-PL	170	950	1	2	0.323	100%	
Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%	
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
G3(G4側)							
Spl-PL	170	950	1	2	0.323	100%	
Base-PL	200	250	2	2	0.200	100%	
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
裝							
C-5				計	2.796		

名 称	形 状 (mm)		枚 数	面	面 積(m ²)	備 考 (NET)	摘要
	幅	長 さ					
フ イ ラ ー プ レ ー ト							
G2(G1側)							
TYPE-1							
TYPE-2	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
TYPE-1	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
G2(G3側)							
TYPE-2	Fill-PL	80	520	1	2	0.083	100%
TYPE-2	Fill-PL	80	360	1	2	0.058	100%
塗 場							
TYPE-1	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
G3(G2側)							
TYPE-2	Fill-PL	80	360	1	2	0.058	100%
TYPE-2	Fill-PL	80	520	1	2	0.083	100%
TYPE-2	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
TYPE-1	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
G3(G4側)							
TYPE-1							
TYPE-2	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
TYPE-2	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
添接板							
	SpI-PL	170	950	4	2	1.292	100%
					計	2.486	
C-5					計	8.872	

名 称	形 状 (mm)		枚 数	面	面 積(m ²)	備 考 (NET)	摘要
	幅	長 さ					
上部工取付金具							
G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)							
Top-PL	600	1558	4	2	3.590	48%	
控除	80	950	4	2	-0.608	100%	連結部
				計	2.982		
場							
塗							
主析補強材							
G2(G1側)							
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
G2(G3側)							
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
G3(G2側)							
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
装							
G3(G4側)							
Rib-PL	157.5	280	2	2	0.176	100%	
				計	0.704		
C-5				計	3.686		
G2(主析下フランジ)	80	950	2	1	0.152	100%	3種ケレン
(主析下フランジ)	80	520	1	1	0.042	100%	3種ケレン
(主析下フランジ)	80	360	1	1	0.029	100%	3種ケレン
(主析下フランジ)	80	950	1	1	0.076	100%	3種ケレン
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
G3(主析下フランジ)	80	520	1	1	0.042	100%	3種ケレン
(主析下フランジ)	80	360	1	1	0.029	100%	3種ケレン
(主析下フランジ)	80	950	1	1	0.076	100%	3種ケレン
(主析下フランジ)	80	950	2	1	0.152	100%	3種ケレン
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
(主析ウェブ)	250	200	2	1	0.100	100%	3種ケレン
				合計	0.998		
IIIストコート・下・中・上塗り							
T.C.B	5.06 m ² / 1000 ×	16	0.081				
T.C.B	(デサインデーターブックより)						
	5.06 m ² / 1000 ×	80	0.405				
	(デサインデーターブックより)						
				計	0.486		
F-11				計	0.486		

種別	計算式	単位	数量
4. PI橋脚A2側 その他部材 数量計算			
現場孔明工			
下フランジ削孔			
	$\phi 24.5 \times 10 \times 4 = 40$	箇所	40
ウェブ削孔			
	$\phi 24.5 \times 8 \times 2 = 16$	箇所	16
素地調整工(芯出し面積)			
主桁下フランジ側			
	$0.080 \times 0.950 \times 2 \times 4 = 0.608$	m^2	0.608
主桁ウェブ側			
	$0.200 \times 0.250 \times 2 \times 4 = 0.400$	m^2	0.400
アンカーフレット孔			
	$\phi 35 \times 385 \times 4本 \times 4 = 16$	本	16
	0.385 4本 × 4 = 6.16	m	6.16
樹脂接着剤(鉄筋定着)			
	$(0.035^2 \times \pi / 4 \times 0.385 - 0.025^2 \times \pi / 4 \times 0.375) \times 16 \times 1.200 = 3.578$	kg	3.58
	(1本あたり:0.224kg)		

種別	計算式	単位	数量
筋筋探査			
	※筋筋探査の範囲は、鋼製枠から+50mmの範囲で形状		
	$0.330 \times 0.450 \times 4 = 0.594 \text{ m}^2$	m^2	0.59
台座調整モルタル工			
	中心厚さ		
	$0.330 \times 0.450 \times 0.049 \times 4 = 0.030 \text{ m}^3$	m^3	0.03
型枠工			
	$(0.330 + 0.450) \times 2 \times 0.049 \times 4 = 0.310 \text{ m}^2$	m^2	0.31
下地処理(チッピング)			
	$0.330 \times 0.450 \times 4 = 0.594 \text{ m}^2$	m^2	0.60

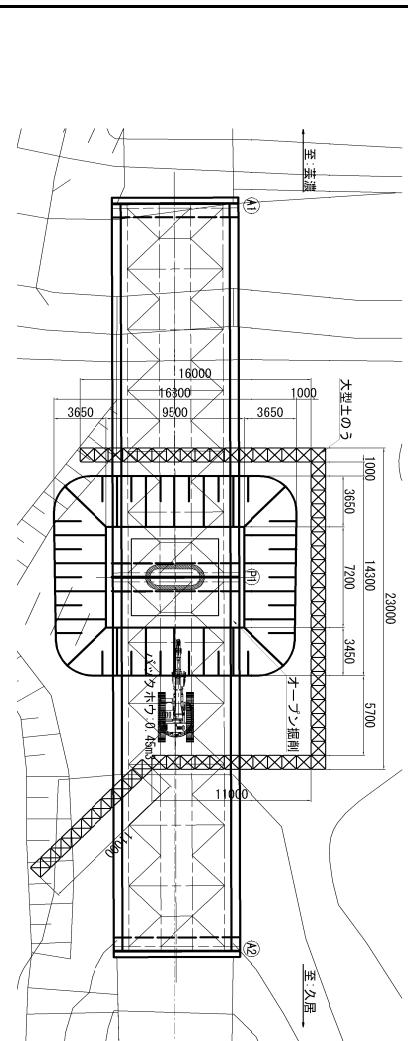
小古曾橋P1橋脚補強数量計算書

数量集計表

工種	種別・規格	区分	単位	数量	摘要
作業土工	床掘り		m3	472.2	
	埋戻し		m3	465.2	
	土材料		m3	53.5	
	積込		m3	516.9	
コンクリート工	土砂等運搬		m3	989.1	
	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	柱	m3	19.4	
	一般型枠	合計	m3	19.4	
	円型型枠	柱	m2	68.7	
鉄筋工	合	合計	m2	68.7	
	D13	kг	kg	0	
	D16～D25	kг	kg	1268	
	D29	kг	kg	0	
鉄筋構造物 SD345	D32	kг	kg	0	
	D51	kг	kg	7787	
	合	計	kg	9055	
	D51	箇所	箇所	34	
フレア一溶接継手	D22	箇所	箇所	86	
	φ 32 L=1.7 m	本	本	18	
	柱	m2	m2	55.3	
	底版	m2	m2	3.3	
コンクリート 表面処理工	合	計	m2	58.6	
	柱	m2	m2	9.2	
	底版	m2	m2	3.3	
	合	計	m2	12.5	
鉄筋探査工	シール材	m3	m3	0.004	
	本数	箇所	箇所	34	
	柱部	削孔長	m/本	1.030	
	鉛直削孔 φ 54	注入材	kg	37.2	
削孔工	本数	箇所	箇所	18	
	柱部	削孔長	m/本	1.200	
水平削孔 φ 42	注入材	kg	kg	15.6	

作業土工

根 拠 図



※床掘削面積についてはCAD上で計測した面積を用いる。

床掘り (オーブン掘削)

床掘全体(橋脚柱も含む)

$$V1 = 37.0 \times 9.500 + 37.0 \times 3.650 / 2 \times 2$$

$$= 486.6 \text{ (m}^3\text{)}$$

補強前柱体積

$$\text{面積} \quad \text{橋脚幅}$$

$$V2 = 4.1 \times 3.500$$

補強後柱体積

$$\text{面積} \quad \text{橋脚幅}$$

$$V3 = 6.1 \times 3.500$$

床掘り土量

$$V = V1 - V2$$

$$= 486.6 - 14.400$$

$$= 472.2 \text{ (m}^3\text{)}$$

埋戻し土量

$$V' = V1 - V3$$

$$= 486.6 - 21.400$$

$$= 465.2 \text{ (m}^3\text{)}$$

土材料 (購入土)

$$V' = (465.2 - 472.2) \times 0.9 = 1.33$$

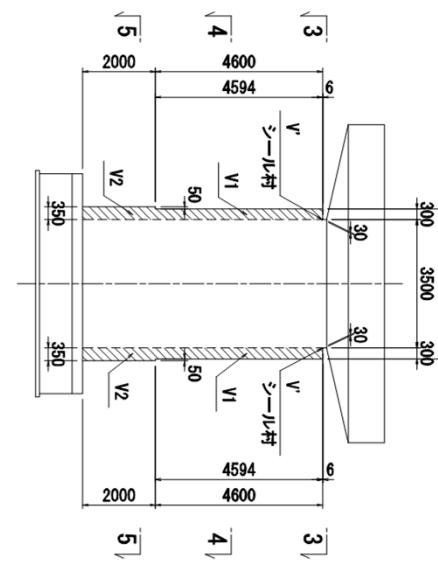
積込

$$V = 465.2 / 0.9 = 516.89 \text{ (m}^3\text{)}$$

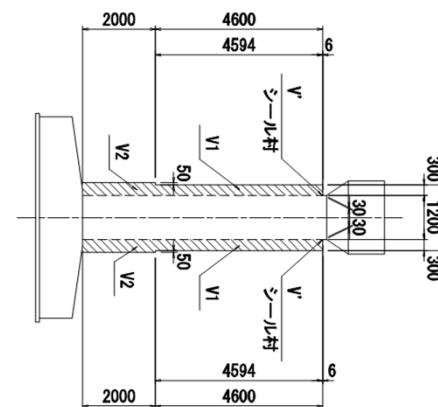
土砂等運搬

$$V = 472.2 + 465.2 / 0.9 = 989.09 \text{ (m}^3\text{)}$$

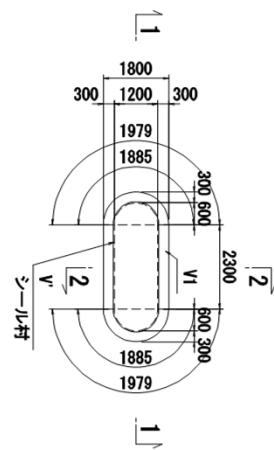
正面図
1-1



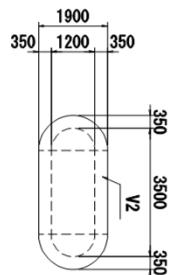
側面図
2-2



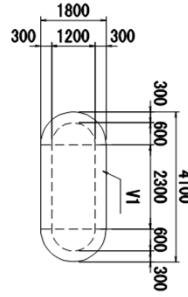
平面図
3-3



平面図
5-5



平面図
4-4



鉄筋構造物 : $\sigma_{ck}=24N/mm^2$

1. 柱

RC巻立て補強($t=300mm$)

$$\begin{aligned} V1 &= (2.30 \times 0.30 \times 2 + \pi/4 \times 1.80^2 - \pi/4 \times 1.20^2) \times 1/2 \times (4.60 + 4.59) = 12.8 \text{ m}^3 \\ &\quad \text{目地挖除} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} V' &= 1/2 \times 0.03 \times 0.03 \times 1/2 \times (1.98 + 1.89) \times 2 + 1/2 \times 0.03 \times 0.03 \times 2.30 \times 2 = 0.004 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

RC巻立て補強($t=350mm$)

$$\begin{aligned} V2 &= (2.30 \times 0.35 \times 2 + \pi/4 \times 1.90^2 - \pi/4 \times 1.20^2) \times 2.00 = 6.6 \text{ m}^3 \\ &\quad \overline{V= 19.4 \text{ m}^3} \end{aligned}$$

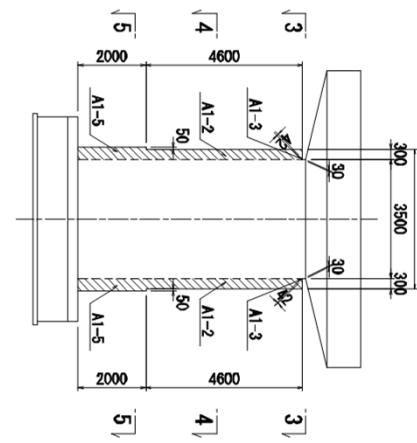
コンクリート工合計 (m³)

部 位	数 量
柱	19.4
合 計	19.4

正面圖

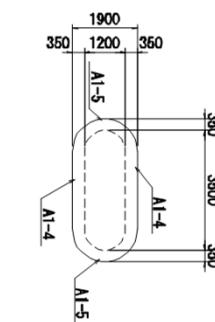


1

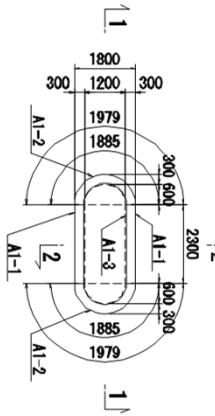


3-3

5-5



平面圖



71

鉄筋構造物 :

1. 柱

RC巻立て補強(t=300mm)

一般型枠

$$A1-1 =$$

$$2.30 \times 4.60 \times 2 = 21.2 \text{ m}^2$$

円型型枠

$$A1-2 =$$

$$\pi \times 1.80 \times 4.60 = 26.0 \text{ m}^2$$

一般型枠、円型型枠

$$A1-3 =$$

$$0.04 \times [1/2 \times (1.98 + 1.89) \times$$

$$2 + 2.30 \times 2] = 0.3 \text{ m}^2$$

RC巻立て補強(t=350mm)

一般型枠

$$A1-4 =$$

$$2.30 \times 2 \times 2.03 = 9.3 \text{ m}^2$$

円型型枠

$$A1-5 =$$

$$\pi \times 1.90 \times 2 = 11.9 \text{ m}^2$$

$$A1 = \underline{\underline{68.7 \text{ m}^2}}$$

一般型枠 (計)

$$A = 30.8$$

円型型枠 (計)

$$A = 37.9$$

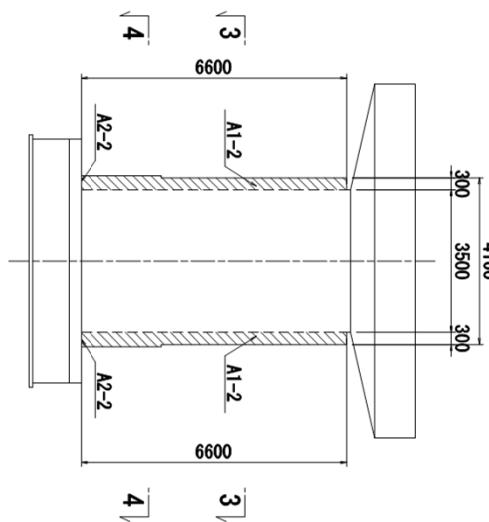
型枠工合計 (m²)

部位	数量
柱	68.7
合計	68.7

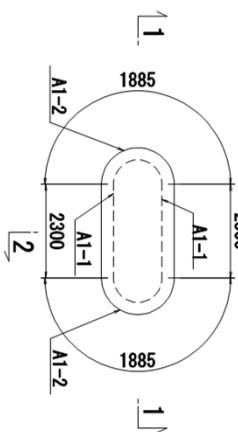
鉄筋工

RC巻立て補強鉄筋		単位	質量	摘要
	鉄筋径	kg	-	SD345
鉄筋工	D13			
	D16	"	-	"
	D19	"	-	"
	D22	"	1,268	"
	D25	"	-	"
	小計	"	1,268	"
D29		"	-	"
	D32	"	-	"
	D51	"	7,787	"
合計		"	9,055	"
圧接継手	D51	箇所	34	"
フレア一溶接継手	D22	箇所	86	"

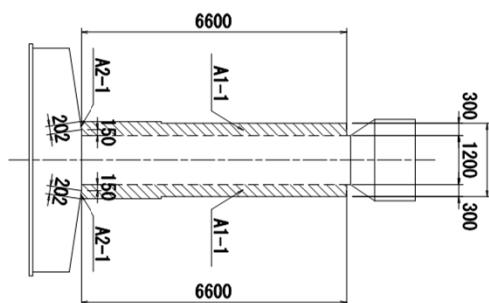
正面図
1-1



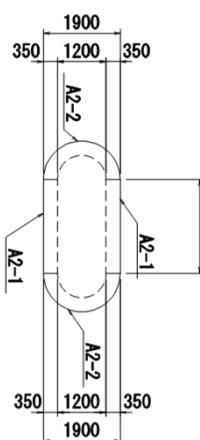
平面図
3-3



側面図
2-2



平面図
4-4



1. 柱

$$A1-1 = 2.30 \times 6.60 \times 2 = 30.4 \text{ m}^2$$

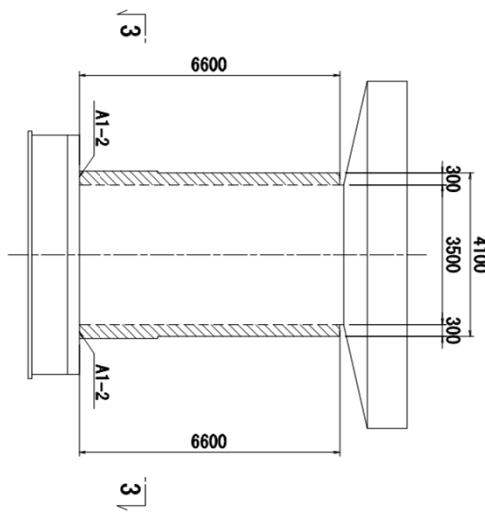
$$A1-2 = 1.89 \times 6.60 \times 2 = \frac{24.9}{A1 = 55.3 \text{ m}^2} \text{ m}^2$$

2. 底版

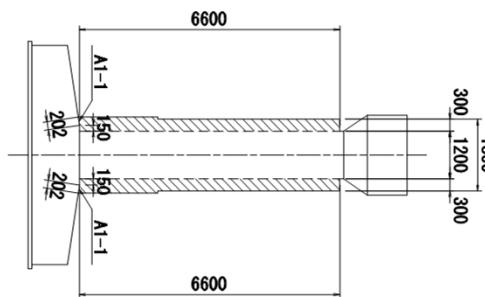
$$A2-1 = 2.30 \times 0.35 \times 2 = 1.6 \text{ m}^2$$

$$A2-2 = \pi / 4 \times 1.90^2 - \pi / 4 \times 1.20^2 = \frac{1.7}{A2 = 3.3 \text{ m}^2} \text{ m}^2$$

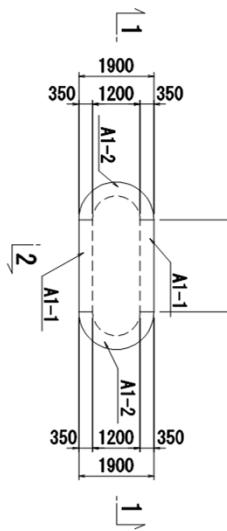
**正面図
1-1**



**側面図
2-2**



**平面図
3-3**



柱

$$A1-1 = 2.30 \times 2.00 \times 2 = 9.2 \text{ m}^2$$

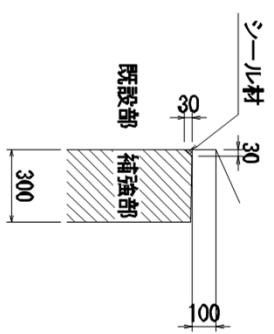
底版

$$A1-1 = 2.30 \times 0.35 \times 2 = 1.6 \text{ m}^2$$

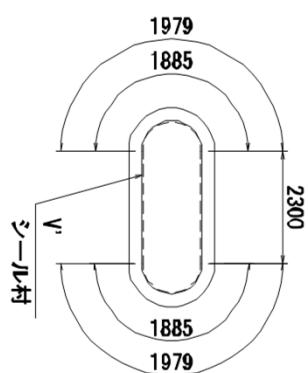
$$A1-2 = 0.35 \times 1/2 \times (\pi \times 1.90) +$$

$$\pi \times 1.20) = \frac{1.7}{3.3 \text{ m}^2}$$

a部詳細図 S=1:20



平面図



1. 目地材
($t = 30\text{mm}$)

$$V^2 = \left(\frac{1}{2} \times 0.03 \times 0.03 \times \frac{1}{2} \right) \times ($$

$$1.98 + 1.89) \times 2 +$$

$$\frac{1}{2} \times 0.03 \times 0.03 \times 2.30 \times$$

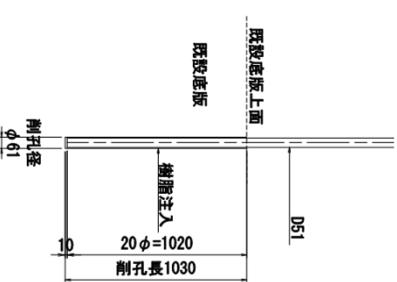
$$= 0.004 \text{ m}^3$$

削孔工

1. 柱部

- (1). 鉛直削孔
 ■ 削孔径 $\phi 54$

削孔工詳細図 S=1:20



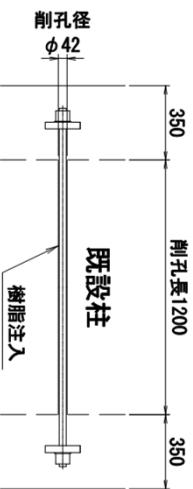
- 1) 本数
 $n = 34$ 箇所

- 2) 削孔長
 $L = 20\phi + 10 = 1.03 \text{ m}$

- 3) 工事キヤ系樹脂注入
 $V = \frac{\pi}{4} \times 0.061^2 \times 1.030 \times 34 = 0.031 \text{ m}^3$
 $= \frac{\pi}{4} \times 0.051^2 \times 1.020 \times 34 = 0.031 \text{ m}^3$
 $W = 0.031 \times 1200 = 37.2 \text{ kg}$

- (2). 水平削孔
 ■ 削孔径 $\phi 42$

中間貫通削孔詳細図 S=1:20



- 1) 本数
 $n = 18$ 箇所

- 2) 削孔長
 $L = 1200\text{mm} = 1.20 \text{ m}$

- 3) 工事キヤ系樹脂注入
 $V = \frac{\pi}{4} \times 0.042^2 \times 1.200 \times 18 = 0.013 \text{ m}^3$
 $= \frac{\pi}{4} \times 0.032^2 \times 1.200 \times 18 = 0.013 \text{ m}^3$
 $W = 0.013 \times 1200 = 15.6 \text{ kg}$

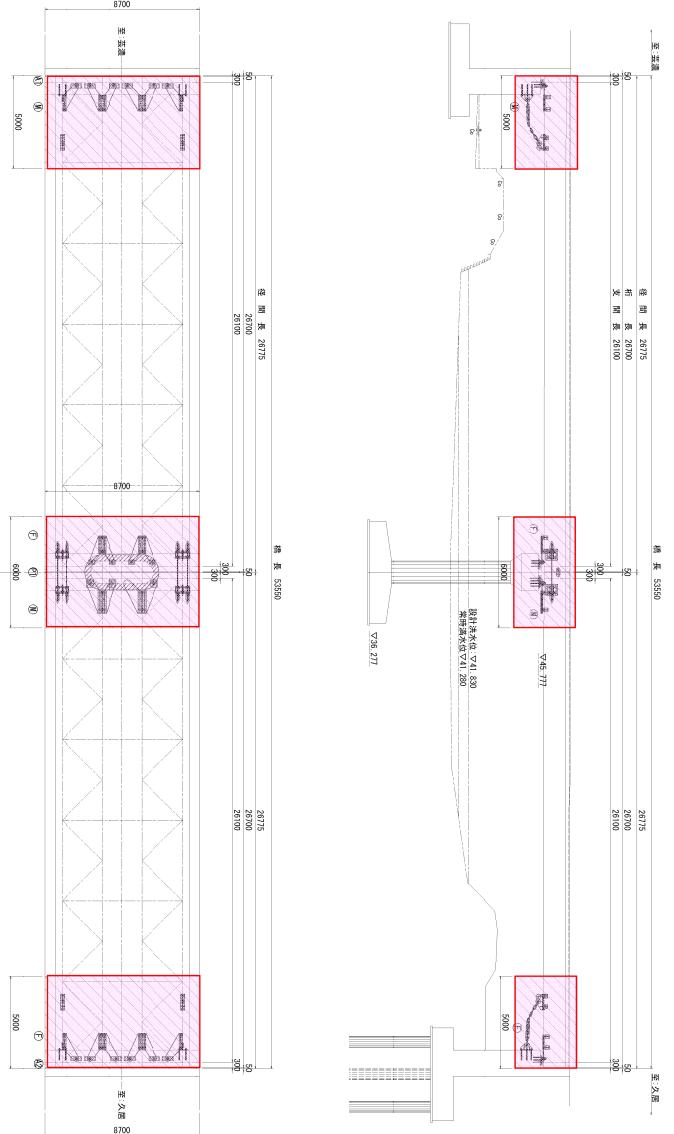
仮設工 数量計算書

数量集計表

工種	種別	規格	単位	数量	摘要
仮設工					
足場工					
足場	吊足場	P1 A1	m2	95.7	落橋防止構造 他設置時
	足場				
工事用道路工					
工事用道路	整地	盛土	m3	447.1	
	山土		m3	536.5	
	積込		m3	447.1	
	大型土のう工	製作・設置・撤去	袋	114	
	土砂等運搬・残土等処分		m3	541.7	
	敷鉄板設置・撤去		m2	459.0	
	敷鉄板貢料		枚	99	
	防護柵撤去・設置		m	6.5	
土留・仮締切工					
仮締切工	大型土のう工		袋	61	
	土砂等運搬・残土等処分		m3	50.6	
水替工					
ポンプ排水	ポンプ設置・撤去		箇所	1	
	ポンプ運転		日	42	
交通管理理工					
交通誘導警備員	交通誘導警備員B		人日	125	

吊足場

根拠図



橋脚回り足場（落橋防止構造および水平力分担構造設置時）

$$\begin{array}{l}
 \text{置面積} \\
 = \frac{\text{設置幅}}{\text{設置延長(A1)}} + \frac{\text{設置延長(P1)}}{\text{設置延長(A2)}} + \frac{\text{設置延長(A2)}}{\text{設置幅}} \\
 = \frac{95.7}{8.7} \times (5.0 + 6.0 + 0.0) \\
 = 95.7 (\text{m}^2)
 \end{array}$$

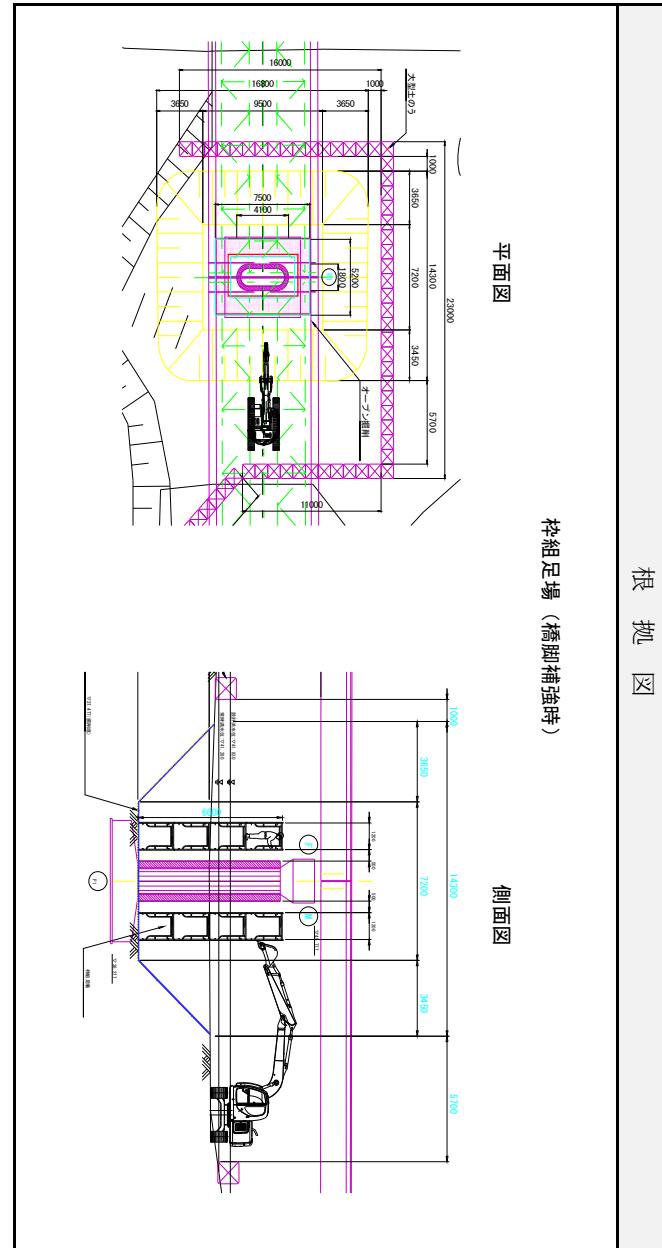
梓組足場

根拠図

梓組足場（稿脚補強時）

平面圖

侧面圖



粹組足場

設置延長

$$L = (4.1 + 20.6) \text{ (m)} \times 2 + 8.8$$

設置面積

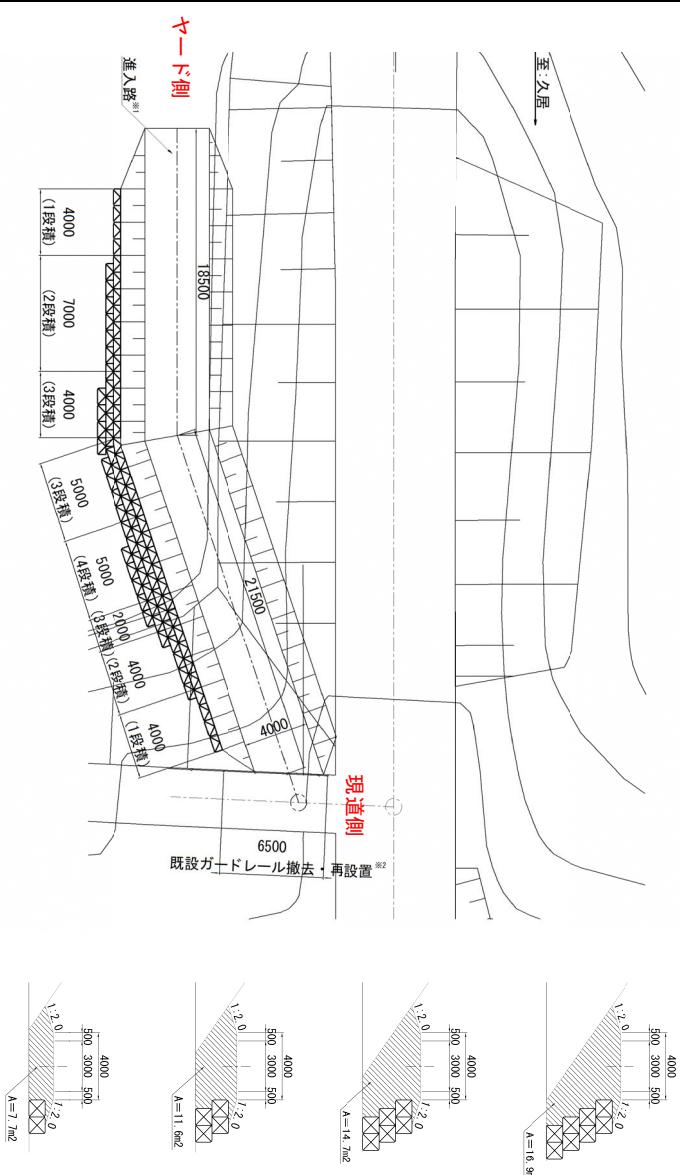
$$A = 20.6 \times 136.0 (\text{挂m}^2)$$

設置延長 足場高さ

6.6

工事用道路

根 抱 図



大型土のう (設置・撤去 工事用道路工)

大型土のうは、設置延長および大型土のう積段数より算出する。なお、大型土のうは1袋/m³として算出する。

$n =$	4.0	\times	1段	+	4.0	\times	2段	+
	2.0	\times	3段	+	5.0	\times	4段	+
	5.0	\times	3段	+	4.0	\times	4段	+
	5.0	\times	3段	+	4.0	\times	3段	+
	7.0	\times	2段	+	4.0	\times	1段	+
$=$	114	(袋)						

土砂等運搬及び残土等処分

$$V = 447.1 + 114.00 \times 0.83 \\ = 541.7 \quad (\text{m}^3)$$

敷鉄板 (設置・撤去)

$$A = 459.0 \quad (\text{m}^2)$$

敷鉄板貢料

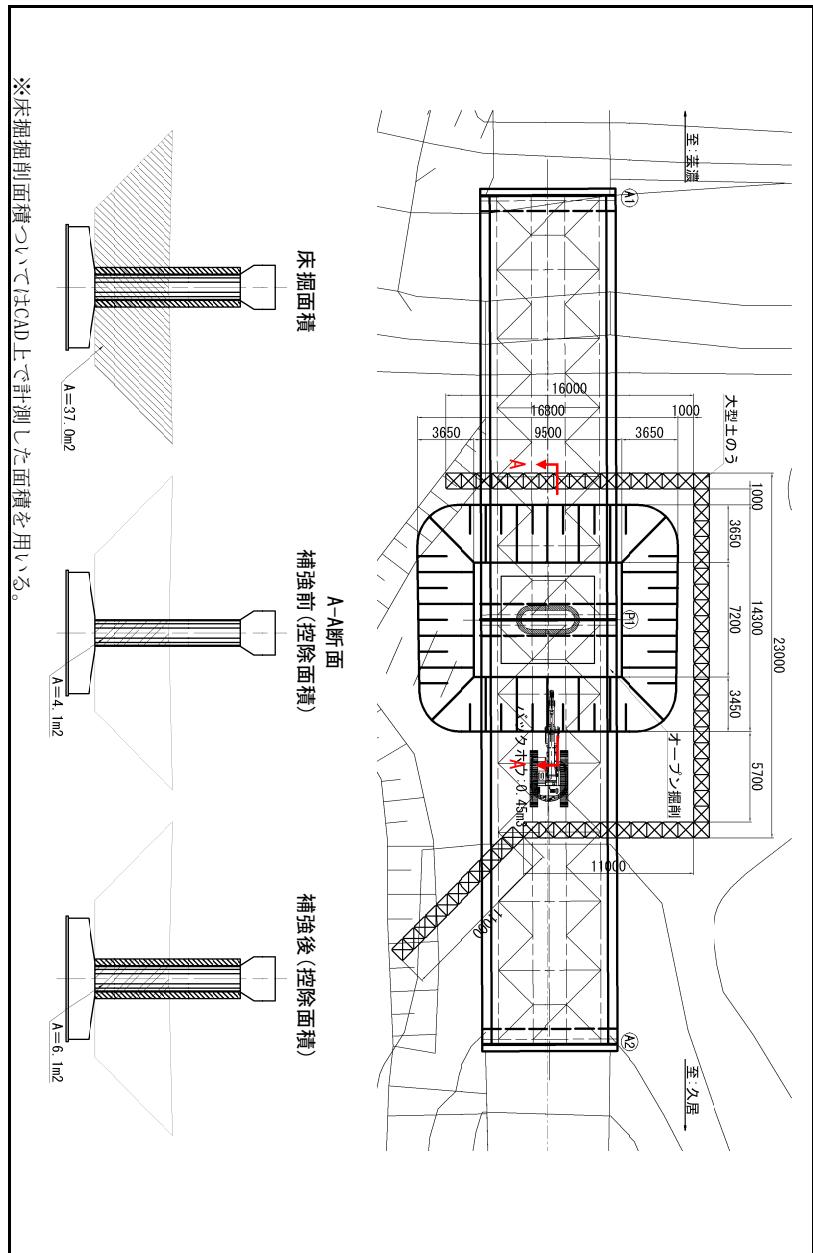
$$n = 459.0 / 3.048 / 1.524 \\ = 99 \quad (\text{枚})$$

防護柵撤去・設置

$$L = 6.5 \quad (\text{m})$$

仮締切工

根 拠 図



大型土のう工 (橋脚周辺簡易締切)

大型土のうの設置延長は以下のとおり。

$$\begin{aligned} L &= 11.0 + 11.0 + 23.0 + 16.0 \\ &= 61.0 \quad (\text{m}) \end{aligned}$$

大型土のうは1袋/mとなるため、

$$n = 61 \quad (\text{袋})$$

土砂等運搬及び残土等処分

$$\begin{aligned} V &= 61.0 \times 0.83 \\ &= 50.6 \quad (\text{m}^3) \end{aligned}$$

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仕様関係	<input checked="" type="checkbox"/> 共通の仕様	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）は、三重県公共工事共通仕様書に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月版）を適用 <input checked="" type="checkbox"/> 本市が制定する要綱及び規則等に準拠するとともに監督員の指示により執行すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストを活用し、津市工事請負契約約款、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書等に基づき、施工・手続き等が適切に実施されていることを常に監督員と共有し、確認すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）（一部改正：令和6年9月）を参考とする。 <input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案）編」を適用
	<input type="checkbox"/> 公園工事の仕様	<input type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事共通仕様書（令和6年5月）に準ずること。 <input type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事施工管理基準（令和6年5月）に準ずること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
工程関係	<input type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名：)	<input type="checkbox"/> 調整項目（ <input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整 <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）)
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> 制限する工種名（ 橋脚巻立て工 ） 施工時期及び施工時間（ 令和7年10月以降 ） 施工方法（ ）
		<input checked="" type="checkbox"/> 工種（ 全工種 ）について、施工日の即日開放を原則とする。 <input type="checkbox"/> 工種（ ）について、事前に（ 警察署 ）と立会を行い、確認後、施工すること。
	<input type="checkbox"/> 工期	<input type="checkbox"/> 工期は、繰越手続きが完了後、（令和 年 月 日）までに変更します。
	<input type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了	<input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ）
	<input type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり	<input type="checkbox"/> 占用物件名（ <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ） ）
	<input type="checkbox"/> 支障物件の移設	<input type="checkbox"/> 施工に支障となり、ゴミ置場等の移設が必要な場合は、施工前に関係機関、所有者、関係自治会等と調整を図ること。また、移設場所及び移設時期を所有者、関係自治会等へ事前に回覧等を配布するなど周知の徹底を図ること。なお、調整結果を監督員に報告すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物等の損害	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等上空施設の調査結果を監督員に報告すること。また、地下埋設物件等に損害を与えた場合は、直ちに関係機関に通報及び監督員に連絡し、応急措置を取り補修するとともに、周辺住民に対して適切な処置を講じること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の使用許可申請及び消防長への道路工事の届出等を行うこと。また、諸手続きにおいて、許可、承諾を得たときは、その書面の写しを監督員に提出すること。
	<input type="checkbox"/> 通学路確認	<input type="checkbox"/> 工事箇所を通学区域とする学校に確認し、通学路であった場合は、対象の学校と協議し、工程の調整を図り、通学者の安全を確保すること。また、学校との協議結果を監督員に報告すること。
	<input type="checkbox"/> 部分使用	<input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）
	<input type="checkbox"/> 部分引渡し	<input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ ） <input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な **85** を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
用地関係	<input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり	<input type="checkbox"/> 未処理箇所 (<input type="checkbox"/> 別添図等) <input type="checkbox"/> No. ~No. <input type="checkbox"/> 別途協議)
	<input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤード (<input type="checkbox"/> 官有地 <input checked="" type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間 (契約日から令和8年2月2日まで) <input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離 (L=0.02km) <input checked="" type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法 (原形復旧)
	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()
公害対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目 (<input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 施工方法等 (<input type="checkbox"/> 指定工法名 ()) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 施工時期 ()
	<input type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> 調査項目 (<input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事前調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事後調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定 <input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 調査方法 (<input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 家屋調査は、主任技術者(監理技術者)の管理のもと、三重県業務委託共通仕様書に基づき調査を実施すること。また、調査に従事する者(補助者を除く)は、調査対象物件に応じた建築士法第2条に規定する建築士の資格を有する者を充てること。なお、身分証明書交付願を速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後に家屋調査を実施すること。
	<input type="checkbox"/> 地下水位低下工	<input type="checkbox"/> ウェルポイントは、近隣家屋の事前調査完了後に着手すること。また、工事現場周辺の井戸調査を行い、井戸が残存する場合は、井戸の水位の変化に細心の注意を払うこと。なお、近隣家屋の事前箇所及び井戸調査範囲は、監督員と協議すること。
	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限	<input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設 (<input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) ・近接施設 (<input type="checkbox"/> 擁壁 () <input type="checkbox"/> ブロック塀 <input type="checkbox"/> 家屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (河川護岸)) ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種 () ・制限内容 ()
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保(自主施工の原則)	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事故速報の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 掘削(床掘り)	<input checked="" type="checkbox"/> 図面に表記した掘削及び床掘ラインは、数量算出に用いたものであり、掘削の深さ、掘削を行っている期間、土質条件、地下水の状況及び周辺地域の環境条件等を総合的に勘案し、安全かつ確実に施工すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 作業後の現場確認	<input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	<input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	<input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 保安要員の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 別途協議)

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な別途協議を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり	<p><input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置（□別添図等 □その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議（ ）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置（□別添図等 □その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議（ ）</p> <p>□ 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概算人数による算出</p> <p>① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。</p> <p>概算延べ人数：交通誘導警備員 A : 0人 B : 125人 (注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。)</p> <p>② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。</p> <p>③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。</p> <p>□ 積上げによる算出</p> <p>配置人員数（人）（うち交通誘導警備員A（人）） (注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間（別途協議）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間（別途協議）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種（別途協議）</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期安全研修・訓練等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等は、工事着手後、作業員全員（交通誘導警備員含む）の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施すること。また、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。なお、安全教育及び安全訓練等の実施状況を記録した資料及び写真を整備及び保管し、監督員及び検査員に提示すること。</p> <p>(1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 (2) 当該工事内容等の周知徹底 (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4) 当該工事における災害対策訓練 (5) 当該工事現場で予想される事故対策 (6) その他、安全・訓練等として必要な事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等は、以下に示す項目の具体的な計画を作成し施工計画書へ記載すること。</p> <p>(1) 工事期間中の月別安全研修・訓練等実施全体計画 (2) 全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述する。</p> <p>1) 月当たり半日以上の時間を割り当てた安全研修・訓練等の実施内容・工程に合わせた適時の安全項目 2) 資機材搬入者等一時入場者への工事現場内誘導方法 3) 現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法 4) KY及び新規入場者教育の方法 5) 場内整理整頓の実施 6) その他安全に関する取組み</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 安全巡視等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 安全巡視者を定め、安全巡視者はその所在を明らかにするとともに、施工計画書の内容、工事現場の状況、施工条件及び作業内容を熟知し、適時、作業員等の指導及び安全施設や仮設備の点検を行い、工事現場及びその周辺の安全確保に努めること。また、安全巡視、KY活動、TBM等の実施状況を記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容の印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な⁸⁷を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 災害防止協議会（安全衛生協議会）の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 下請け契約を締結する場合には、下請負人の工事施工・安全管理の責任者等を含め、災害防止協議会を設置し、作業間の連絡調整を図り、災害防止に努めること。また、協議会の開催は毎月1回以上とする。なお、実施状況を記録した資料（実施状況写真があることが望ましい）を保管し、監督員及び検査員に提示すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場者教育	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場者教育等（交通誘導警備員を含む）は、本工事の現場特性を反映した内容で実施すること。また、実施状況がわかる記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。
建設発生土・産業廃棄物関係	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり <input type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定	<input checked="" type="checkbox"/> 受入地の条件（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input checked="" type="checkbox"/> 運搬距離（L= 16 km） <input checked="" type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input checked="" type="checkbox"/> その他（受入場所は津市河芸町上野建設発生土処分場とし、受入条件は津市建設発生土処分場受入規則に基づくものとする。）） <input type="checkbox"/> 受入地未定につき別途協議する。（ <input type="checkbox"/> 暫定運搬距離L= km、 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input type="checkbox"/> アス塊 <input checked="" type="checkbox"/> 木材 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p style="text-align: center;">【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】</p> <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ） <input type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 <p style="margin-left: 20px;">アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物處理及清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。</p> <input type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 再生資源利用計画 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物税 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理を委託する場合には、廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、産業廃棄物収集運搬業者等、産業廃棄物処分業者等との契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されたことを確かめるとともに監督員に提示すること。また、完成検査時に検査員に提示すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な別途協議を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
施工条件	<input checked="" type="checkbox"/> 施工	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担において処理すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事期間中（養生期間中を含む）の工事箇所に隣接する乗入れについて、所有者（使用者）と施工前に協議し、施工時間の調整を行い、必要に応じ鉄板等を用いるなど乗入れを確保すること。また、受注者は、完成後の乗入れの形態を所有者に事前に説明し、了承を得ること。 <input checked="" type="checkbox"/> 排水構造物の施工中は、常に通水可能な状態を確保すること。また、降雨時等は状況把握に努め、必要に応じて臨機の措置を講じること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事箇所に官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鉛、プレート等）が発見された場合は、オフセット等境界を示すものの位置が明確となる資料及び状況写真を添付し、施工前に監督員に報告すること。 また、用地付近又は官民境界付近に接して工事を行う場合には、地権者の了承を得て着手すること。 <input checked="" type="checkbox"/> ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境対策	<input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び入家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 既存排水施設等に影響を及ぼす恐れのある濁水（土粒子を多量に含むもの）は、沈砂または濾過施設を通すなど濁りの除去等の行った後、放流すること。また、万が一環境に影響を及ぼす事態が発生した場合は、受注者の責において解決に当たること。
	<input type="checkbox"/> 支援技術者	<input type="checkbox"/> ① 本工事の現場における現場技術業務を（公財）三重県建設技術センターに委託するため、支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場立会、観察又は検査を行う場合は、業務に協力すること。また、書類（施工体制台帳、施工計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じること。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しない。 <input type="checkbox"/> ② 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 <input type="checkbox"/> ③ 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 <input type="checkbox"/> ④ 本工事を担当する支援技術者については、監督員からその氏名を通知する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有	<input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については、津市建設工事電子メールを活用した情報共有に関する実施要領に基づき、監督員の指示によるものとする。
	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板の使用	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	<input type="checkbox"/> I C T活用工事	<input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（土工 1,000m ³ 未満）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（小規模土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（舗装工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（法面工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（地盤改良工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（河川浚渫）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用 （三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（擁壁工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（基礎工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（構造物工（橋脚・橋台））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） <input type="checkbox"/> 「I C T活用工事（構造物工（橋梁上部））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
	<input checked="" type="checkbox"/> 週休2日モデル工事	<input checked="" type="checkbox"/> 「特記仕様書（土木工事編）（受注者希望型）」を適用 （津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」、週休2日モデル工事の試行について）を参照) <input type="checkbox"/> 「特記仕様書（土木工事編）（発注者指定型）」を適用 （津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」、週休2日モデル工事の試行について）を参照)

（注）上記受託業務事項・条件及び内容の印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。

明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な⁸⁹を講ずるものとする。

別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
施工条件	<input checked="" type="checkbox"/> 熱中症対策	<input checked="" type="checkbox"/> 「熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること。また、「気温の計測方法」「計測結果の報告方法」「具体的な熱中症対策の方法」について施工計画書に記載するとともに、熱中症対策実施後においては、実施状況について写真を添付して報告すること。
	<input type="checkbox"/> 公園内工事	<input type="checkbox"/> 公園利用者の安全確保につとめ、工事箇所に工事関係者以外が立ち入ることのないよう、注意して施工するものとする。
	<input type="checkbox"/> 災害復旧	<input type="checkbox"/> 工事用道路として使用する敷地は、施工期間中及び施工終了時に原形に復旧すること。また、地権者より制約条件、時間的制約等、要望された場合は、速やかに監督員に報告すること。 <input type="checkbox"/> 本工事は、建設工事請負契約書の条項第30条第4項の「特記仕様書で定める災害応急対策又は災害復旧に関する工事」の対象工事である。
	<input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ）期間（ ）その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 現場発生品あり	<input type="checkbox"/> 品名（ ）数量（ ）保管場所（ ）その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 支給品あり	<input type="checkbox"/> 品名（ ）数量（ ）引渡場所（ ） 時期（令和 年 月 日）その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり	<input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ） ） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ） ） 数量（ ）運搬距離（L= km）
	<input checked="" type="checkbox"/> 現場パトロール	<input checked="" type="checkbox"/> 公共工事の品質確保の促進を図る目的として、津市政策財務部検査課において、施工状況の確認等現場パトロールを実施することがある。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
工事支障物件関係	<input type="checkbox"/> 工事支障物件あり	<input type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ） ） <input type="checkbox"/> 移設時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 防護（ ）
	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他（ ）
監督の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 (ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となつた場合は、全ての工種を重点監督とする。) <input type="checkbox"/> 重点監督	<input checked="" type="checkbox"/> 重点監督の場合【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 <input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。 <input type="checkbox"/> 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
	<input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 転用あり（ 回） <input type="checkbox"/> 兼用あり（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 水替工（締切排水工）	<input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 42 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、隨時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な別途協議を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定	<input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 施工方法（ <input type="checkbox"/> ）
	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）
再生材使用関係	<input type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり	<input type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂） <input type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input type="checkbox"/> 別途協議）
	<input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	<input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	<input type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 (認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）) <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 (認定製品の品名：間伐材製工事用バリケード・看板・標示板）
	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）
コリンズ作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> コリンズ（CORINS）の作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。また、様式については、津市ホームページ（入札等に関する各種様式（工事・コンサル））に定められたものとする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真是、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書（作業主任者）	<input checked="" type="checkbox"/> 作業主任者を選任すべき作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を施工計画書へ記述するとともに資格者証の写しを施工計画書へ添付して提出すること。また、就業制限の対象業務及び特別教育の必要な対象業務も同様とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工体制台帳	<input checked="" type="checkbox"/> 工事を施工するために下請契約（一次下請負人となる警備業者との契約含む）を締結した場合、工事着手までに、原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、添付書類も含めその写しを監督員に提出すること。また、施工体制に変更が生じた場合も同様とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 部分下請通知書	<input checked="" type="checkbox"/> 工事の一部分において、下請負に付する場合には、部分下請通知書を当該下請負業者の施工開始日までに提出すること。部分下請通知書には、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、主任技術者等の資格者証の写し及び主任技術者等の雇用関係書類を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。また、添付書類については、施工体制台帳と兼ねることができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 工事使用材料	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に示す規格に適合したものとする。また、使用する材料の品質証明の資料確認（提示及び提出）は、施工計画書作成時に監督員と協議すること。
	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）
電子納品	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む） <input type="checkbox"/> 電子納品対象外	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 また、受注者が希望しない場合は監督員の承諾を得て、電子納品としないことができる。 電子媒体の提出部数は、（ <input checked="" type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> （ <input type="checkbox"/> ）部）とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和6年7月改訂）を適用

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容の印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり	<input type="checkbox"/> 設計条件() 工法区分() 材料種類() 施工範囲() <input type="checkbox"/> 削孔数量() 注入量() その他()
	<input type="checkbox"/> 提出書類あり <input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	<input type="checkbox"/> 工法関係() 材料関係()
	<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> その他()
社会保険等未加入対策	<input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)	<input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費を明記した標準見積書の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用に努めること。 (津市HP「仕事・産業一入札・契約一工事・建設コンサルタント関係一調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照)
配慮依頼事項	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れ	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 使用者等において市民の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 業務従事者等の使用者等が必要となる場合は、使用者等に市民を活用するよう配慮すること。
特例監理技術者の設置	<input type="checkbox"/> 特例監理技術者の設置	<input type="checkbox"/> 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書【特定管理技術者等の配置】に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）
時間外労働の上限規制の適用	<input type="checkbox"/> 時間外労働の上限規制の適用	<input type="checkbox"/> 本工事は、労働基準法第139条第1項「災害時における復旧及び復興の事業」に該当する工事である。
津市公契約条例	<input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るために必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を探ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。

明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。

別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
津市公契約条例	<input checked="" type="checkbox"/> 労働環境の確保に係る誓約事項	<p><input checked="" type="checkbox"/>津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
暴力団等の不当介入の排除等	<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	<p><input checked="" type="checkbox"/>締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 受注者の義務 <ul style="list-style-type: none"> (1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力をすること。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 <ul style="list-style-type: none"> (1) 入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 <ul style="list-style-type: none"> (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。
建設業退職金共済制度に係る事務手続き	<input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	<p><input checked="" type="checkbox"/>建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいが、これにより難い場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。 4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。

明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。

別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
建設業退職金共済制度に係る事務手続き		<p>5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認し、「掛金充当実績総括表」を作成し、監督員に提示すること。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。</p> <p>6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下 CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間に齟齬が生じないように留意すること。</p>
津市工事請負の地元調整	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	<p>□ 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。</p> <p>1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。</p> <p>2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。</p> <p>3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為 (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。</p> <p>4 工事説明の進め方 (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関する情報を、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関する工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。 (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容の印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な別途協議を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
津市工事請負の地元調整		<p>5 不当要求行為等</p> <p>(1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。</p> <p>また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。</p> <p>(2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。</p> <p>(3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならぬ。</p>
その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他（年度別総事業費の割合）	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の年度別総事業費の割合は、次のとおりとする。 令和6年度 0 % 令和7年度 100 %

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

工期算定書

工期の算定には、施工に必要な実働日数以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	:	60	日
後片付け期間	:	20	日
雨休率※	:	0.86	
その他作業不能日	:	0	日

※休日と天候等による作業不能日を見込んだための係数
(雨休率=(休日数+天候等による作業不能日)／実働可能日数)

休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでい
る。

天候等による作業不能日は、以下を見込んでいる。

- イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日
- ロ) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間足し合わせた日数